

医療機関名

一般財団法人大阪府結核予防会大阪病院 (27111)

病床数 177床

対象期間

2020年1月1日～2020年12月31日

データ提出サマリー

- ① データ提出日 2021/1/12
- ② エラー件数 エラー：0件
注意・警告：56件
- ③ 還元情報作成日 2021/7/7
- ④ 全体集計日 2021/4/2
- ⑤ 集計対象医療機関数 803件

⑥ 検体提出状況		自施設				全体平均(100床あたり)*	
		検体提出数		検体提出患者数		検体提出数	検体提出患者数
() は100床あたり							
当年	2020年	3,250	(1,836.2)	805	(454.8)	621.6	287.2
前年	2019年	2,769	(1,449.7)	880	(460.7)	669.8	318.9
一昨年	2018年	2,996	(1,568.6)	929	(486.4)	686.7	320.4
3年前	2017年	2,872	(1,503.7)	890	(466.0)	689.6	320.5

*全体平均 (100床あたり) は、当年の登録病床数で「200床以上/200床未満」別を判断した区分ごとの平均値を表示する。
2013年以前は全体の平均値を表示している。

1. 特定の耐性菌の分離患者数*と分離率† (JANISで用いている判定基準)

	2017年自施設 患者数(分離率)	2018年自施設 患者数(分離率)	2019年自施設 患者数(分離率)	2020年自施設 患者数(分離率)	全体の分離率 (当年)‡	集計対象医療機関の分離率の分布 と自施設の分離率(当年)
検体提出患者数 (100床あたり)	890人 (466.0人)	929人 (486.4人)	880人 (460.7人)	805人 (454.8人)	317,167人 (287.2人)	28.9 256.7 2,335.7 中
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	98人 (11.01%)	80人 (8.61%)	90人 (10.23%)	81人 (10.06%)	32,020人 (10.10%)	0.00 9.17 51.33 中
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0.00
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	78人 (0.02%)	0.00 0.00 2.46
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	3人 (0.34%)	3人 (0.32%)	4人 (0.45%)	4人 (0.50%)	732人 (0.23%)	0.00 0.00 21.39
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	99人 (0.03%)	0.00 0.00 4.07
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	7人 (0.00%)	0.00 0.00 0.37
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)	2人 (0.22%)	1人 (0.11%)	1人 (0.11%)	2人 (0.25%)	428人 (0.13%)	0.00 0.00 5.26
カルバペネム耐性緑膿菌	8人 (0.90%)	5人 (0.54%)	0人 (0.00%)	5人 (0.62%)	3,237人 (1.02%)	0.00 0.50 18.73
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	2人 (0.22%)	3人 (0.32%)	1人 (0.11%)	0人 (0.00%)	3,819人 (1.20%)	0.00 0.48 17.33
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	13人 (1.46%)	24人 (2.58%)	12人 (1.36%)	0人 (0.00%)	19,900人 (6.27%)	0.00 5.62 29.63
フルオロキノロン耐性大腸菌	21人 (2.36%)	34人 (3.66%)	32人 (3.64%)	24人 (2.98%)	27,146人 (8.56%)	0.00 7.89 34.27

判定基準は、巻末資料1「微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準」のうち「JANISで用いている判定基準」を参照のこと
「JANISで用いている判定基準」は、CLSI 2012と感染症発生動向調査の基準に準拠している

1. 特定の耐性菌の分離患者数*と分離率† (CLSI 2016基準)

	2017年自施設 患者数(分離率)	2018年自施設 患者数(分離率)	2019年自施設 患者数(分離率)	2020年自施設 患者数(分離率)	全体の分離率 (当年)**	集計対象医療機関の分離率の分布 と自施設の分離率(当年)**
検体提出患者数 (100床あたり)	890人 (466.0人)	929人 (486.4人)	880人 (460.7人)	805人 (454.8人)		
バンコマイシン耐性腸球菌 (CLSI 2016基準)				0人 (0.00%)		
ペニシリン耐性肺炎球菌 (CLSI 2016基準)【髄液検体】				0人 (0.00%)		
ペニシリン耐性肺炎球菌 (CLSI 2016基準)【髄液検体以外】				0人 (0.00%)		
多剤耐性緑膿菌 (3系統薬剤、CLSI 2016基準)				0人 (0.00%)		
多剤耐性アシネトバクター (3系統薬剤、CLSI 2016基準)				0人 (0.00%)		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CLSI 2016基準)				3人 (0.37%)		
カルバペネム耐性緑膿菌 (CLSI 2016基準)				5人 (0.62%)		
フルオロキノロン耐性大腸菌 (CLSI 2016基準)				24人 (2.98%)		

判定基準と3系統薬剤の内訳は、巻末資料1「微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準」のうち「CLSI 2016判定基準」を参照のこと

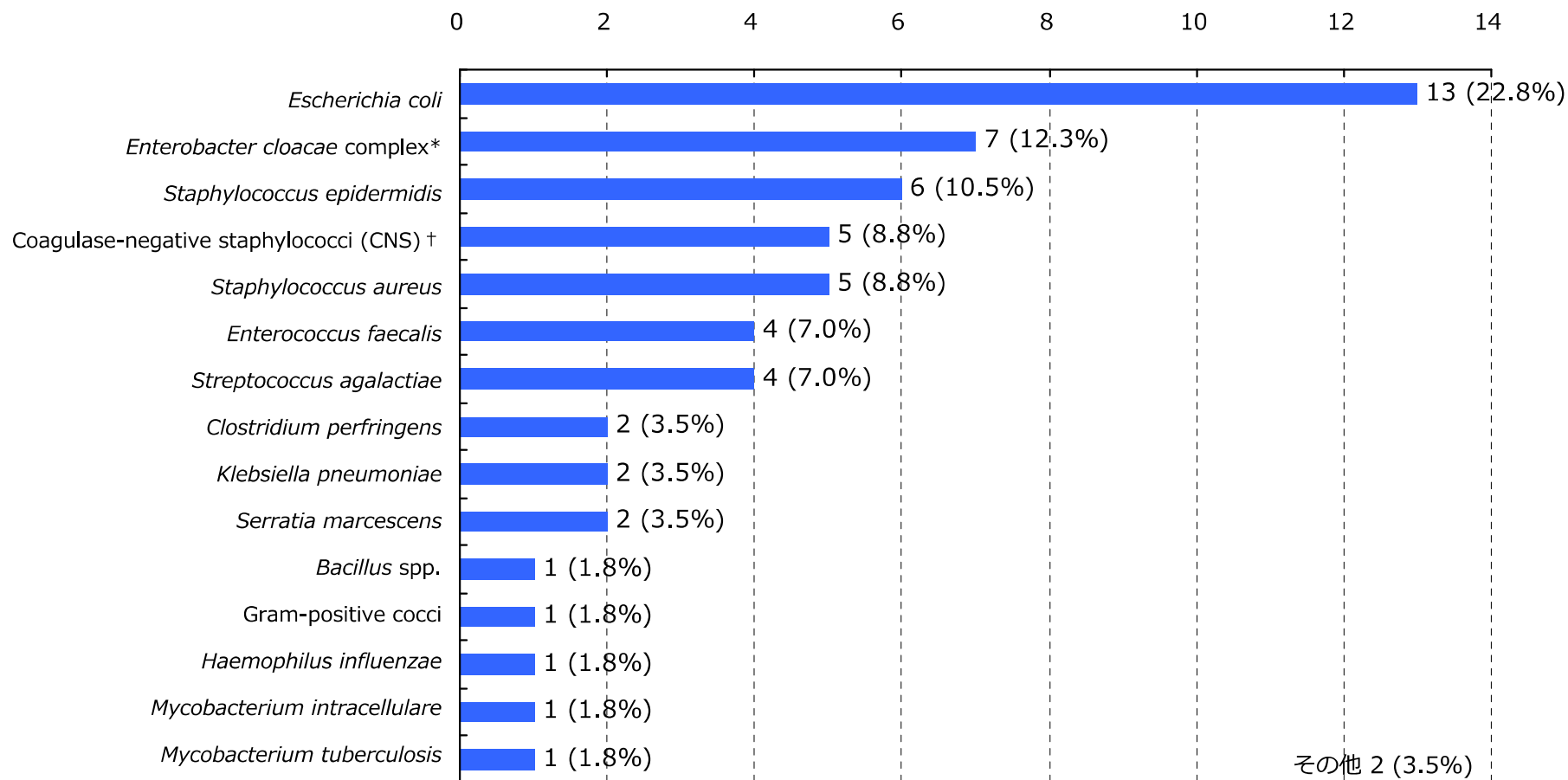
**公開情報では特定の耐性菌をCLSI 2016基準では集計していないため全体の分離率と箱髷図は表示されません

2. 主要菌の分離患者数*と分離率†

	2017年自施設 患者数(分離率)	2018年自施設 患者数(分離率)	2019年自施設 患者数(分離率)	2020年自施設 患者数(分離率)	全体の分離率 (当年)‡	集計対象医療機関の分離率の分布 と自施設の分離率(当年)
検体提出患者数 (100床あたり)	890人 (466.0人)	929人 (486.4人)	880人 (460.7人)	805人 (454.8人)	317,167人 (287.2人)	28.9 256.7 2,335.7
<i>S. aureus</i>	141人 (15.84%)	108人 (11.63%)	126人 (14.32%)	105人 (13.04%)	55,238人 (17.42%)	0.00 16.77 61.95
<i>S. epidermidis</i>	12人 (1.35%)	11人 (1.18%)	16人 (1.82%)	13人 (1.61%)	7,096人 (2.24%)	0.00 1.53 26.32
<i>S. pneumoniae</i>	9人 (1.01%)	7人 (0.75%)	8人 (0.91%)	5人 (0.62%)	2,148人 (0.68%)	0.00 0.35 21.89
<i>E. faecalis</i>	6人 (0.67%)	13人 (1.40%)	5人 (0.57%)	11人 (1.37%)	17,453人 (5.50%)	0.00 5.06 23.46
<i>E. faecium</i>	4人 (0.45%)	6人 (0.65%)	3人 (0.34%)	3人 (0.37%)	6,276人 (1.98%)	0.00 1.41 17.25
<i>E. coli</i>	34人 (3.82%)	48人 (5.17%)	45人 (5.11%)	38人 (4.72%)	63,140人 (19.91%)	0.00 19.64 58.76
<i>K. pneumoniae</i>	31人 (3.48%)	46人 (4.95%)	47人 (5.34%)	55人 (6.83%)	27,251人 (8.59%)	0.00 8.03 30.63
<i>E. cloacae</i> complex				9人 (1.12%)	7,845人 (2.47%)	0.00 2.20 12.01
<i>K. aerogenes</i>				4人 (0.50%)	3,450人 (1.09%)	0.00 0.91 6.82
<i>Enterobacteriaceae</i>		135人 (14.53%)	125人 (14.20%)	121人 (15.03%)	114,370人 (36.06%)	2.75 36.31 77.71
<i>P. aeruginosa</i>	49人 (5.51%)	36人 (3.88%)	34人 (3.86%)	43人 (5.34%)	32,318人 (10.19%)	0.00 8.63 59.82
<i>Acinetobacter</i> spp.	9人 (1.01%)	12人 (1.29%)	12人 (1.36%)	7人 (0.87%)	3,129人 (0.99%)	0.00 0.66 12.04

集計対象となる菌名コードは、巻末資料1「主要菌の菌名コード (薬剤感受性なし)」を参照のこと

3. 検査材料別分離菌数割合 (血液検体分離菌)



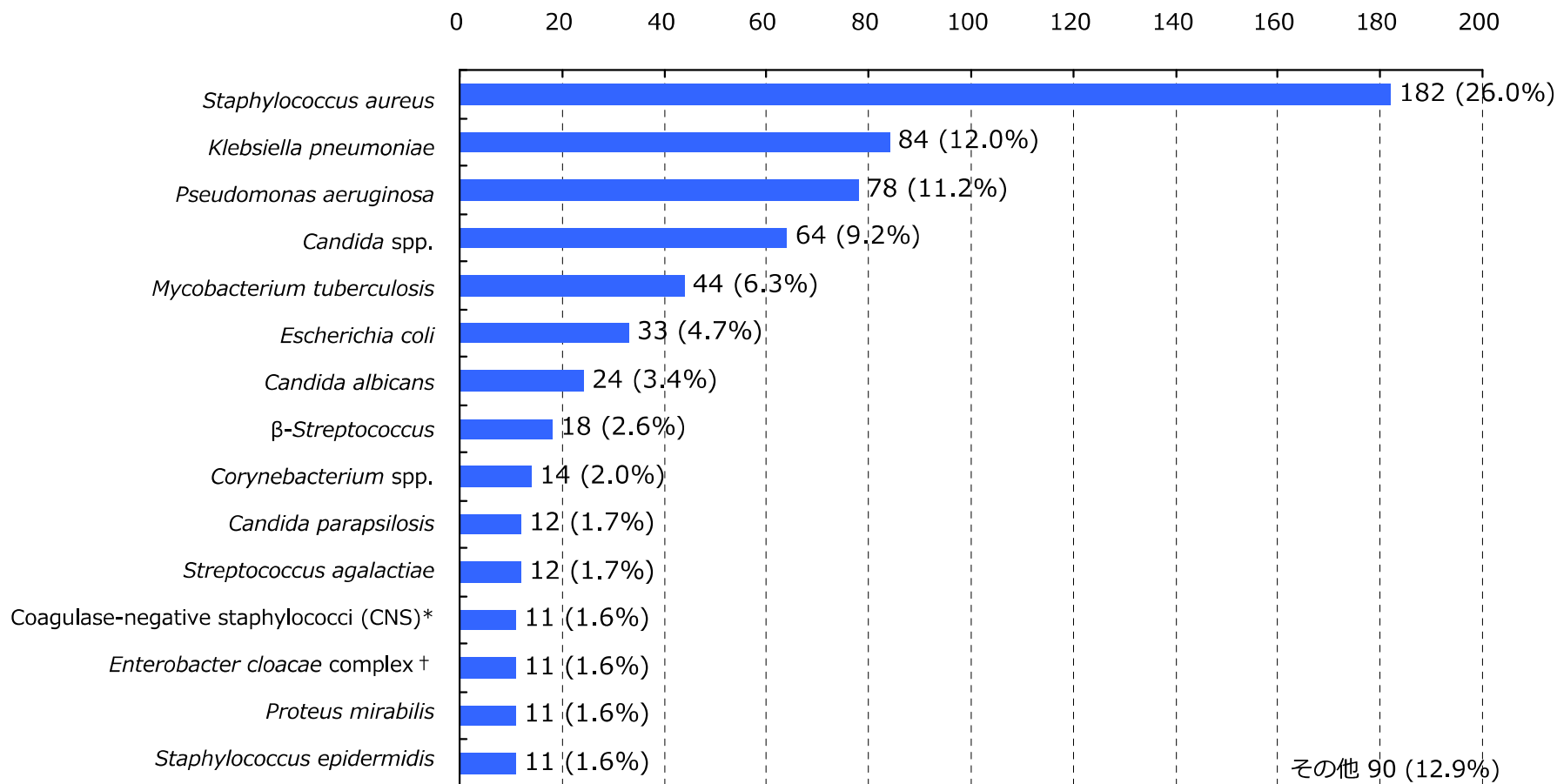
*菌名コード：2151, 2155, 2157～2161と報告された菌

† 検査部門公開情報年報 3. 検査材料別分離菌数割合の集計方法に準ずる

3. 検査材料別分離菌数割合（髄液検体分離菌）

※ 髄液検体から分離した菌はありませんでした。

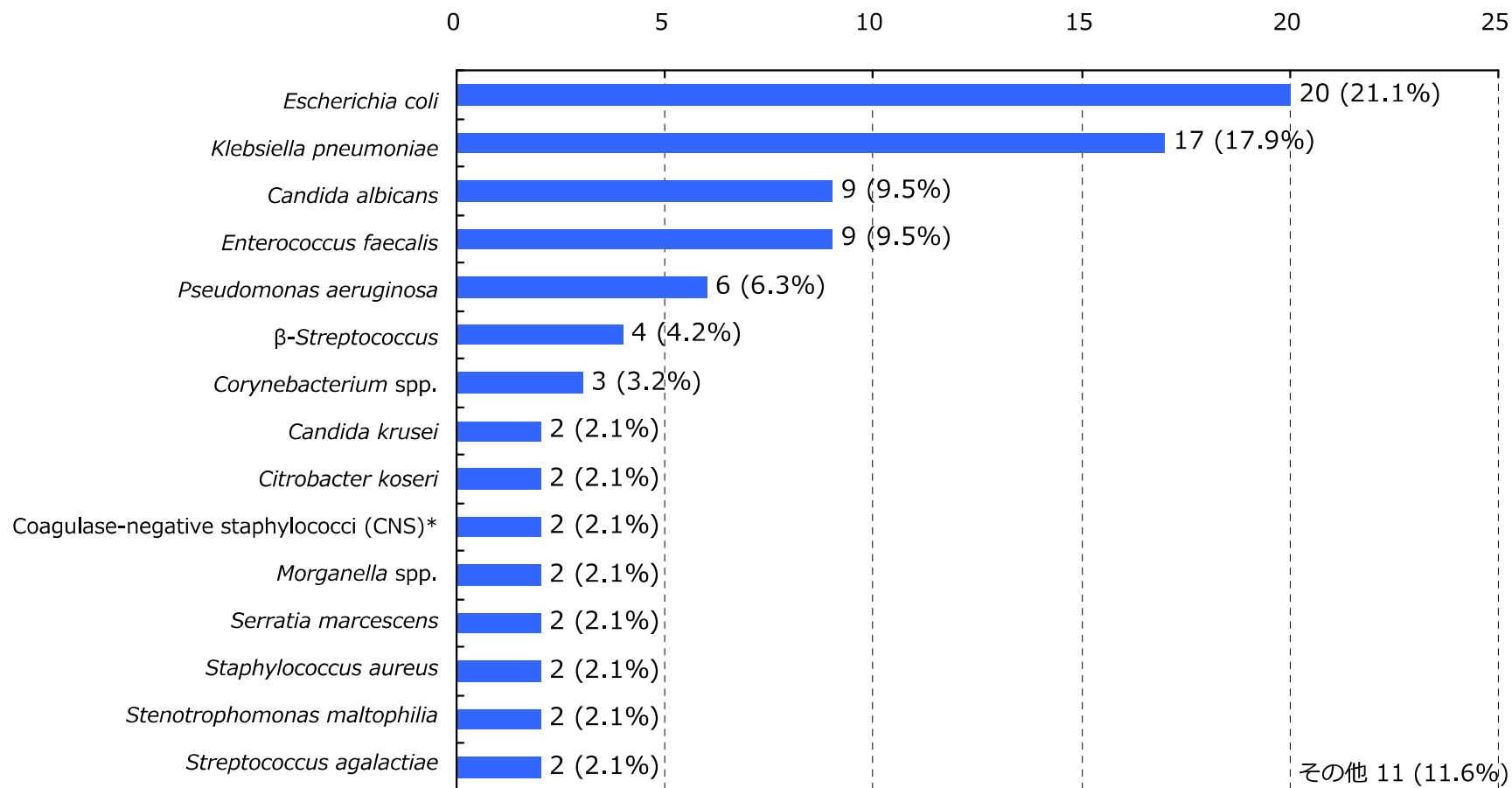
3. 検査材料別分離菌数割合 (呼吸器系検体分離菌)



*検査部門公開情報年報 3. 検査材料別分離菌数割合の集計方法に準ずる

† 菌名コード：2151, 2155, 2157～2161と報告された菌

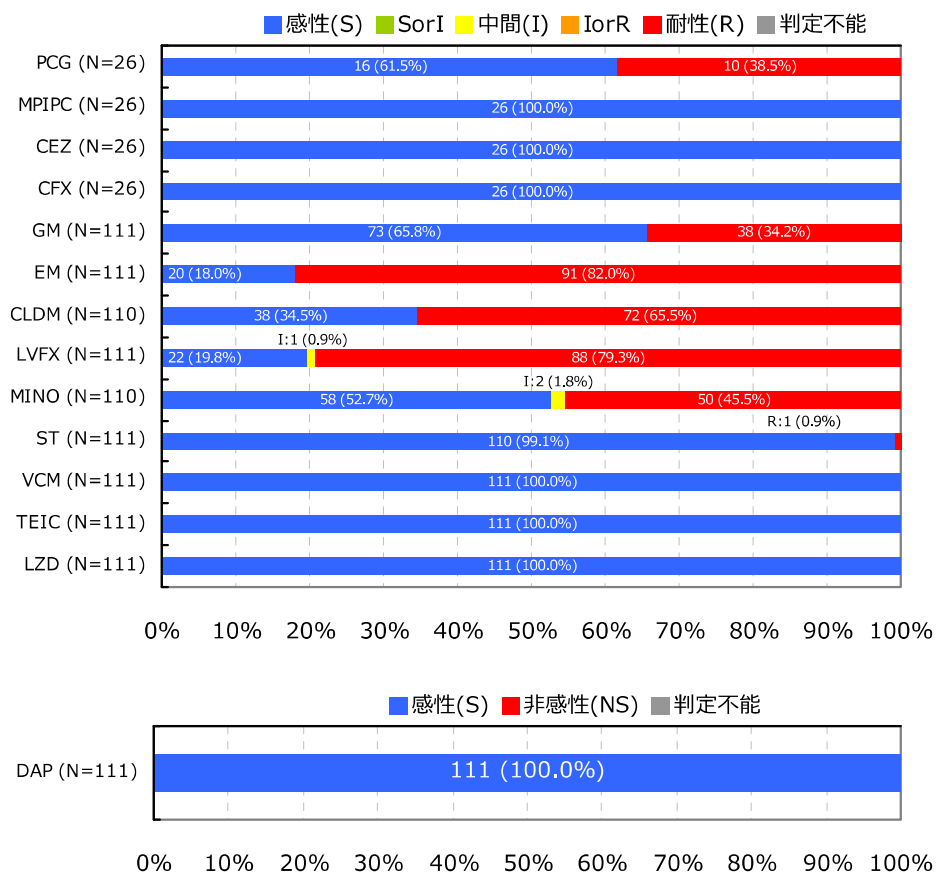
3. 検査材料別分離菌数割合 (尿検体分離菌)



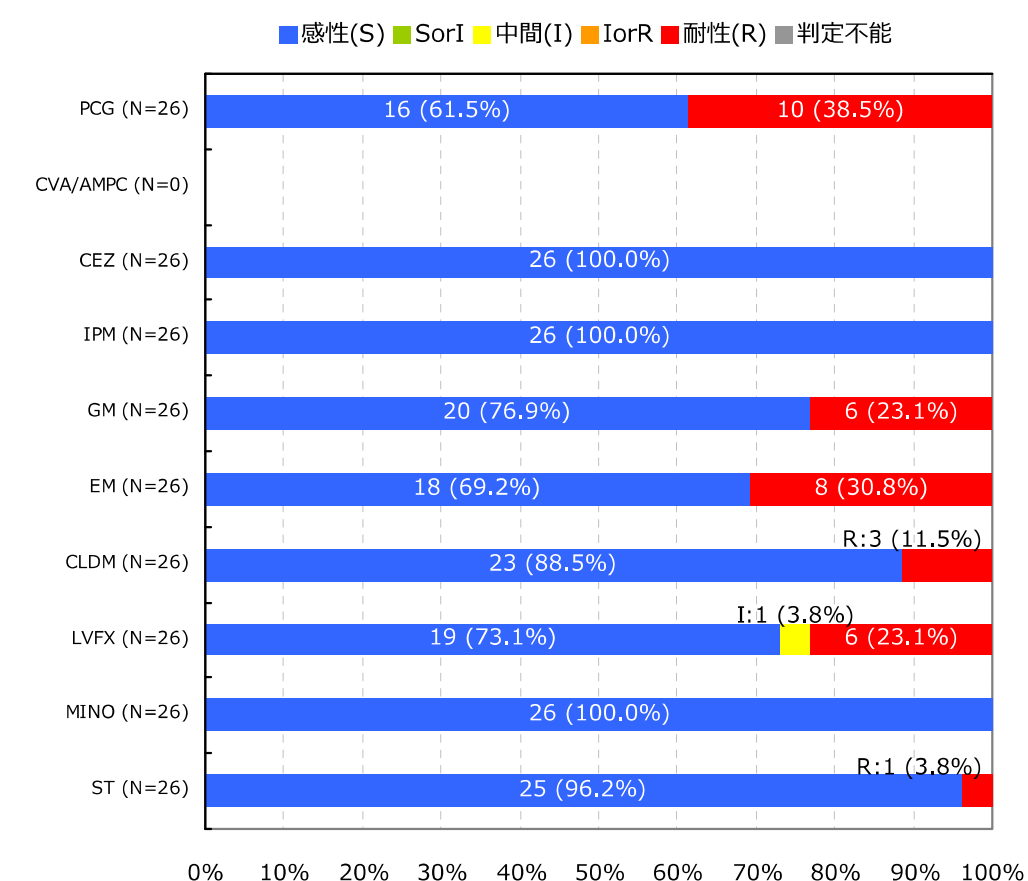
*検査部門公開情報年報 3. 検査材料別分離菌数割合の集計方法に準ずる

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (ALL) †



Staphylococcus aureus (MSSA) ‡



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード: 1301, 1303~1306と報告された菌

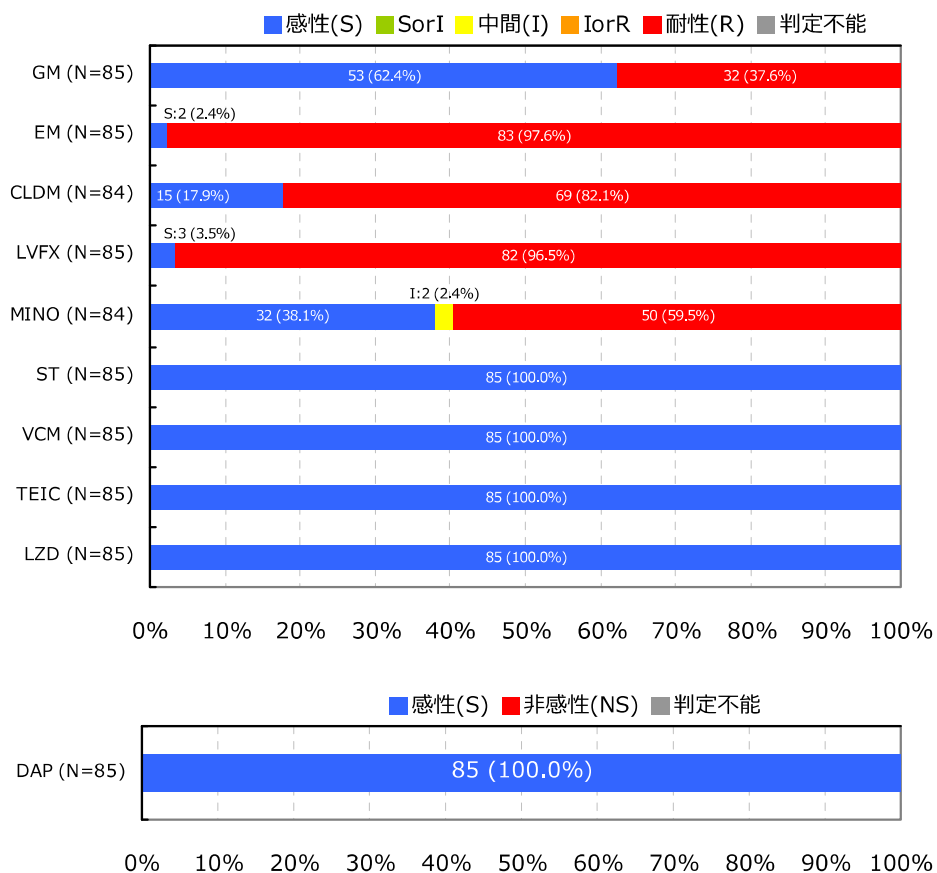
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

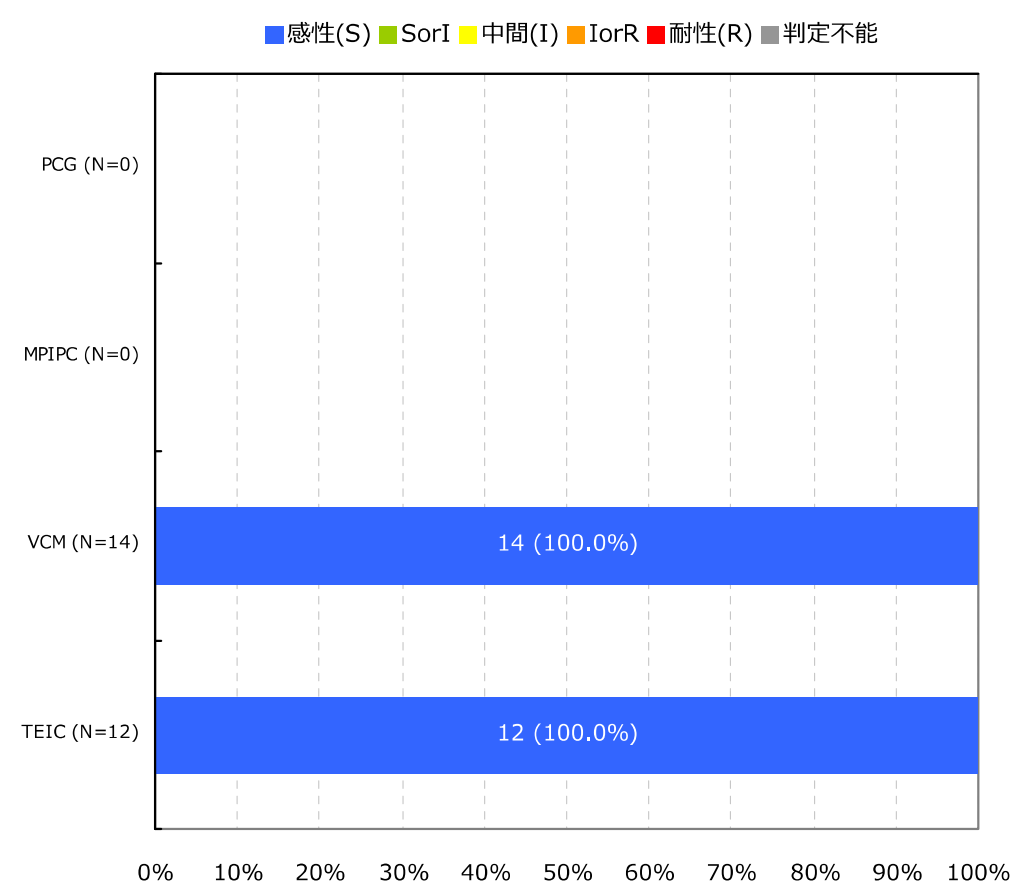
‡ 菌名コード:1304, 1305, 1306と報告された菌、または菌名コード:1301と報告され抗菌薬コード:1208(オキサシリン)
および抗菌薬コード:1606(セフォキシチン)の感受性結果「S」の菌(一方が「S」で他方が未測定の場合を含む)

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MRSA) †



Staphylococcus epidermidis ‡



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード : 1303と報告された菌、または菌名コード : 1301と報告され抗菌薬コード : 1208(オキサシリン) または抗菌薬コード : 1606(セフォキシチン)の感受性結果「R」の菌

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

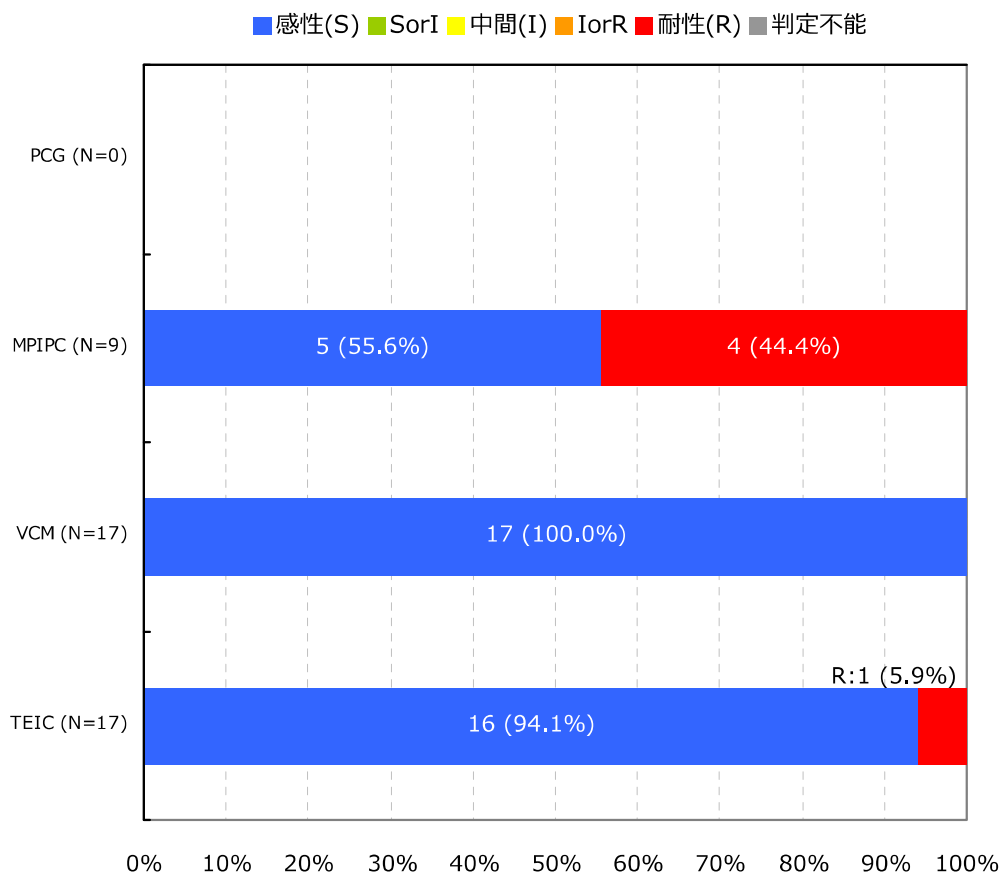
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

‡ 菌名コード : 1312と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Coagulase-negative staphylococci (CNS) †



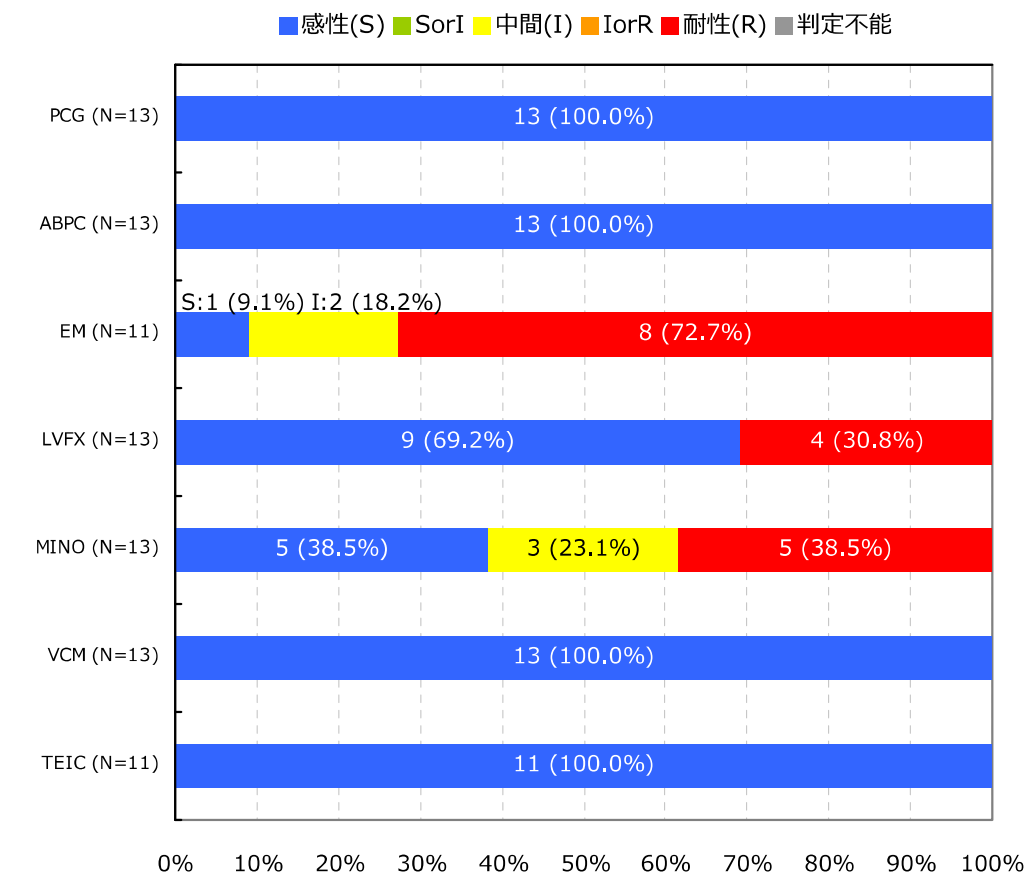
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード: 1311, 1313~1325と報告された菌 (1312: *Staphylococcus epidermidis*は対象外)

Enterococcus faecalis ‡



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

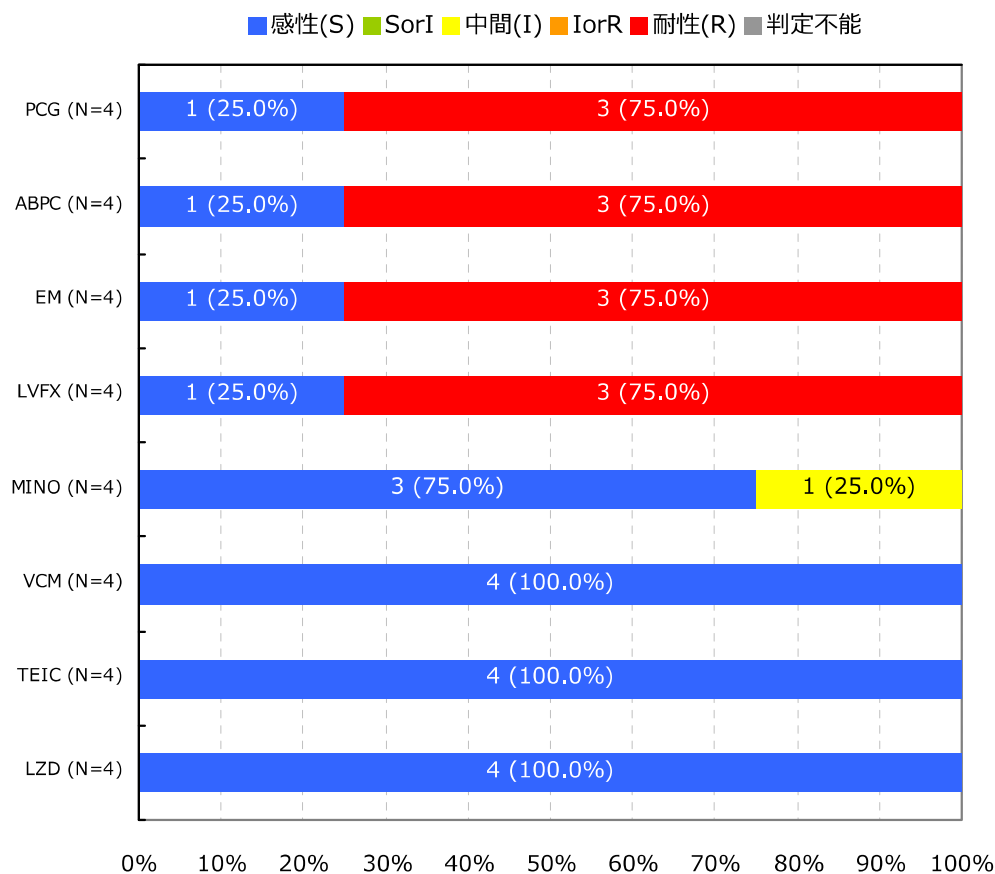
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

‡ 菌名コード: 1201, 1202と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecium †



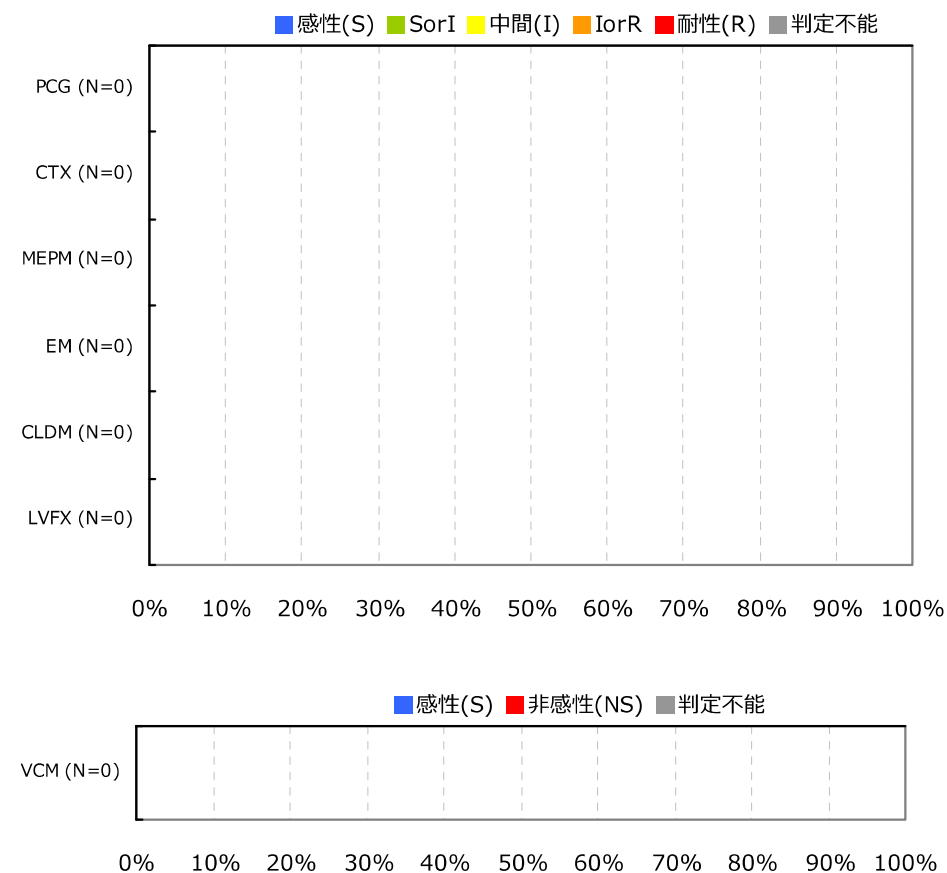
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード: 1205, 1206と報告された菌

Streptococcus pneumoniae(髄液検体) †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

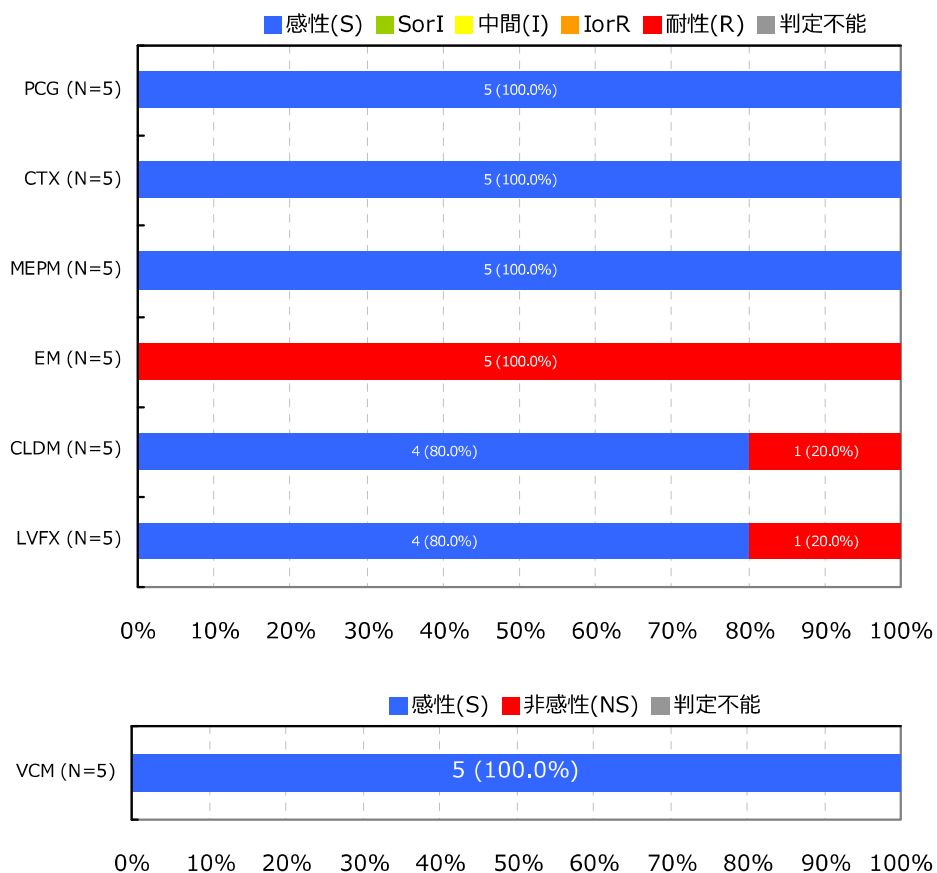
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード: 1131と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体以外) †

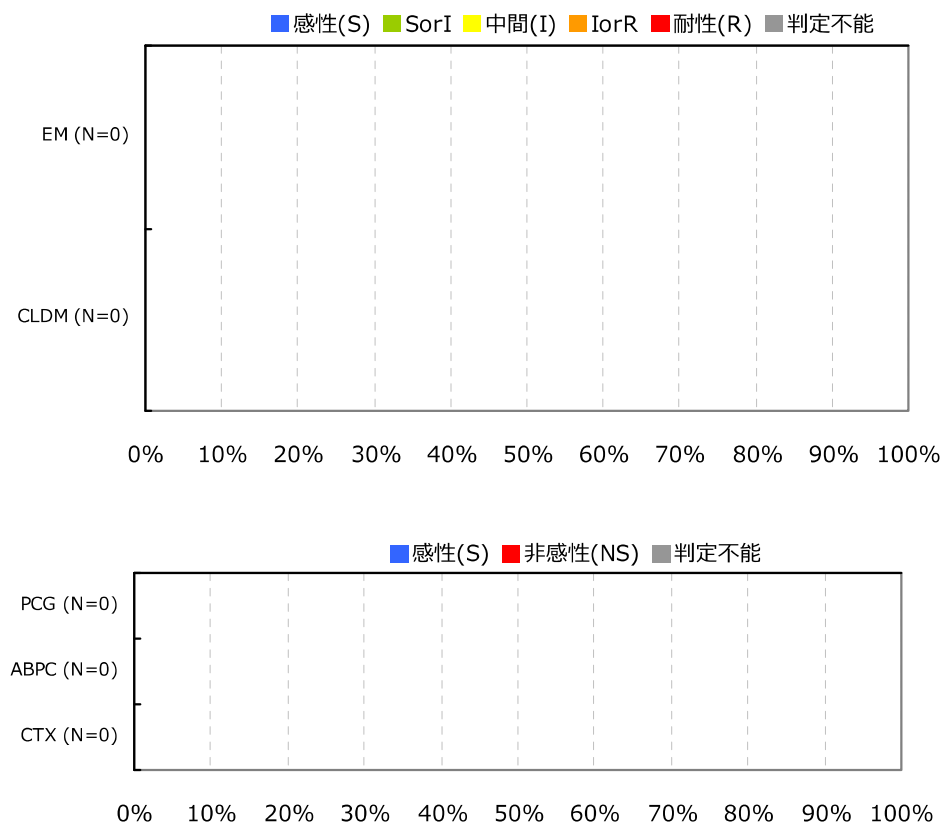


入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
 抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード : 1131と報告された菌

Streptococcus pyogenes ‡



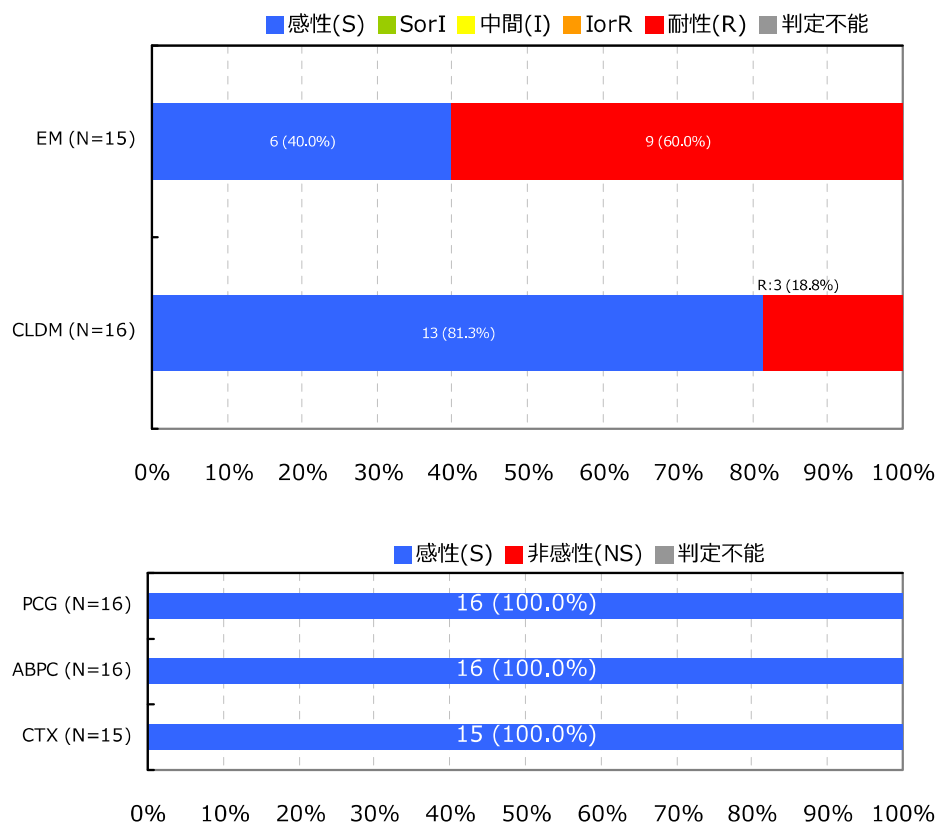
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
 抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

‡ 菌名コード : 1111と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus agalactiae †

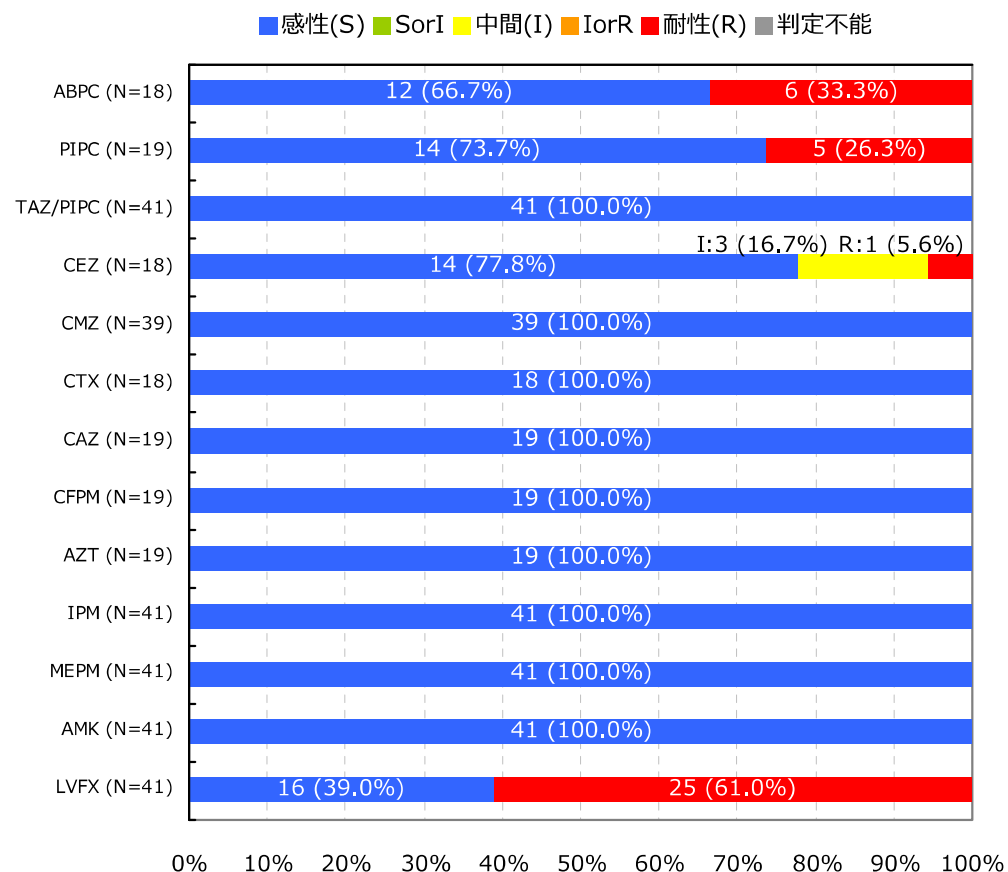


入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：1114と報告された菌

Escherichia coli ‡



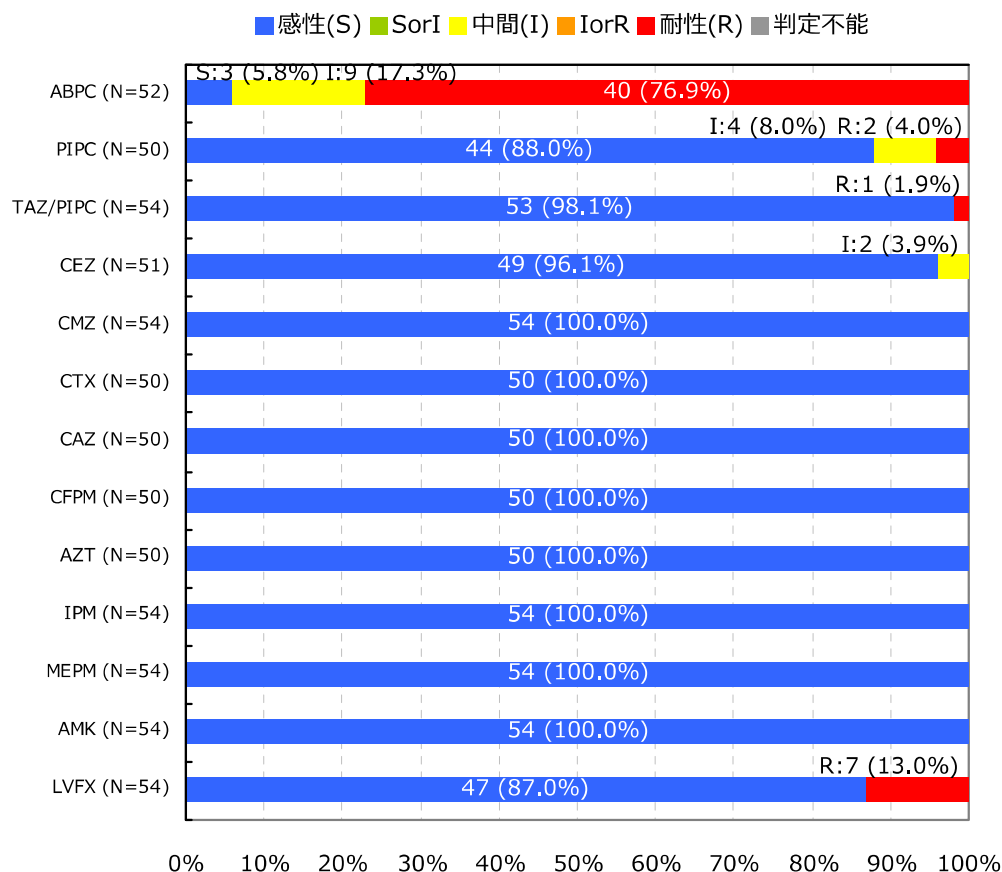
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

‡ 菌名コード：2001～2007と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella pneumoniae †



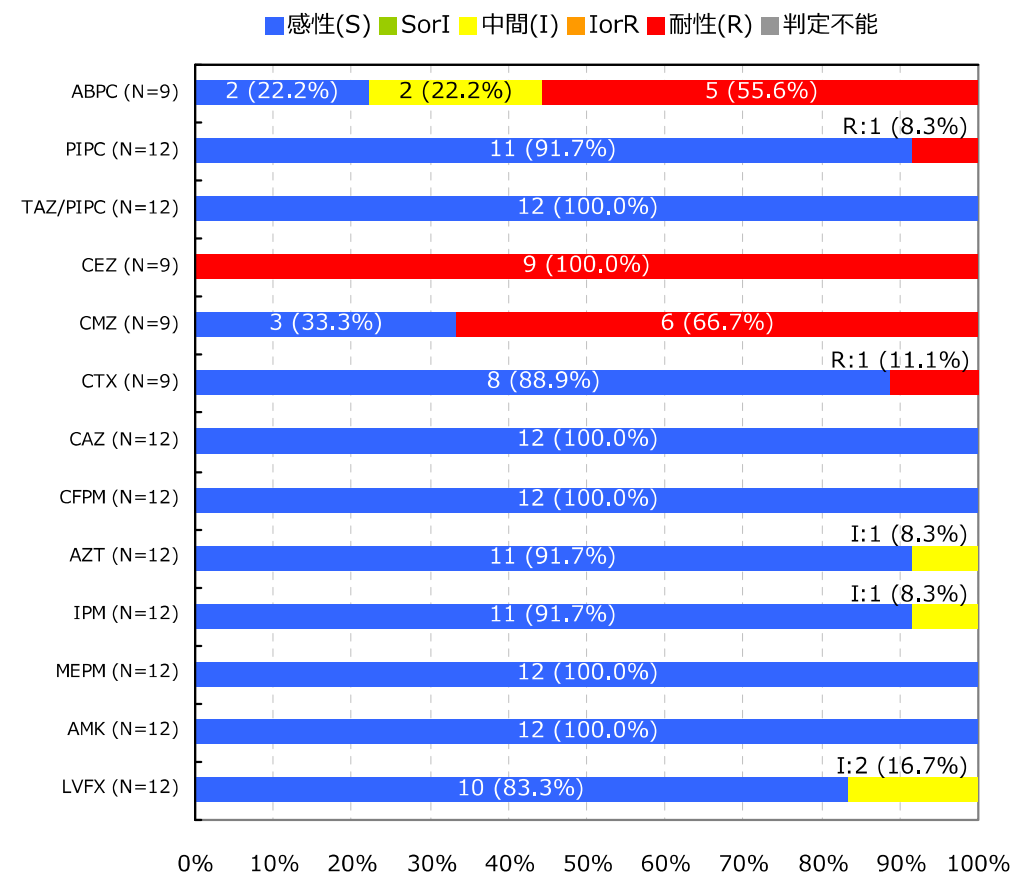
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：2351と報告された菌

Enterobacter cloacae †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

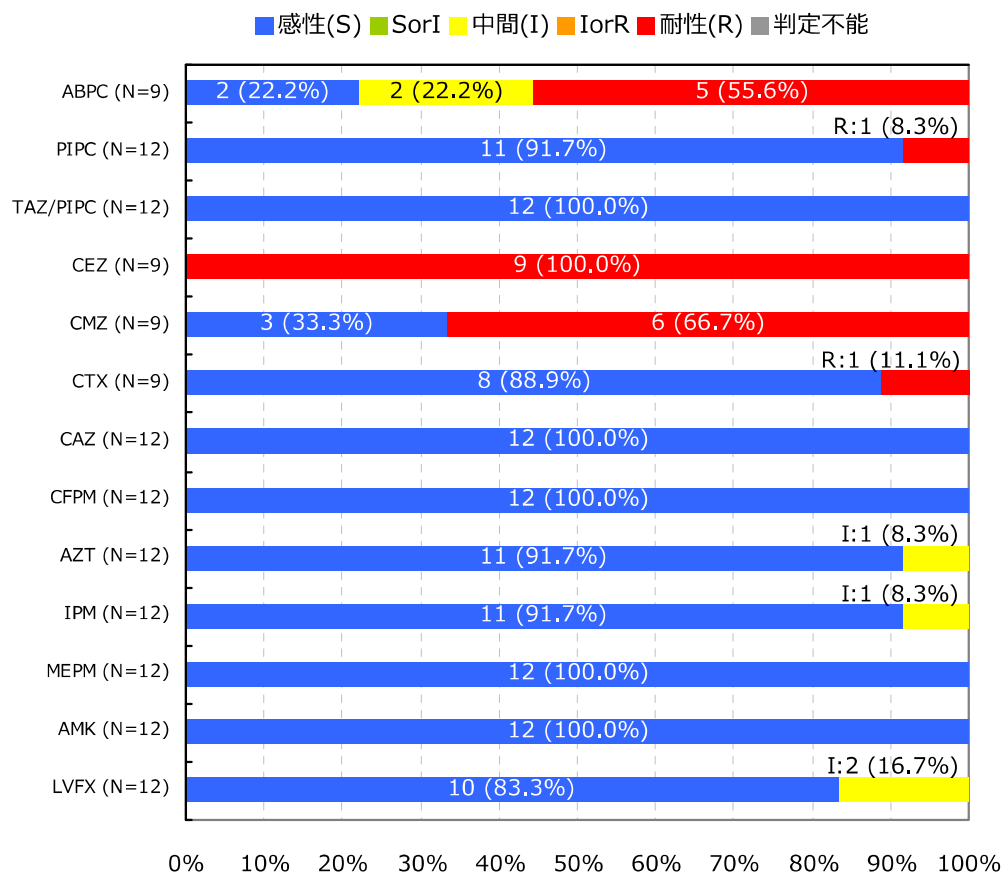
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：2151と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae complex †



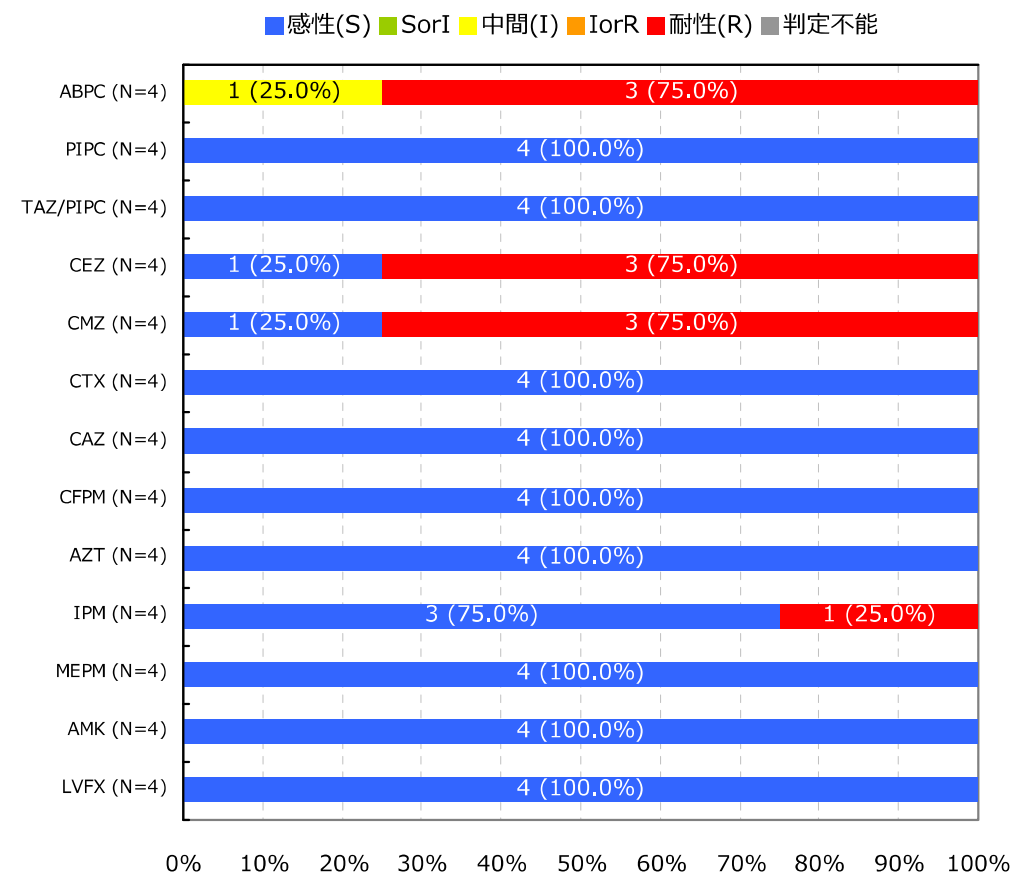
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード : 2151, 2155, 2157～2161と報告された菌

Klebsiella aerogenes †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

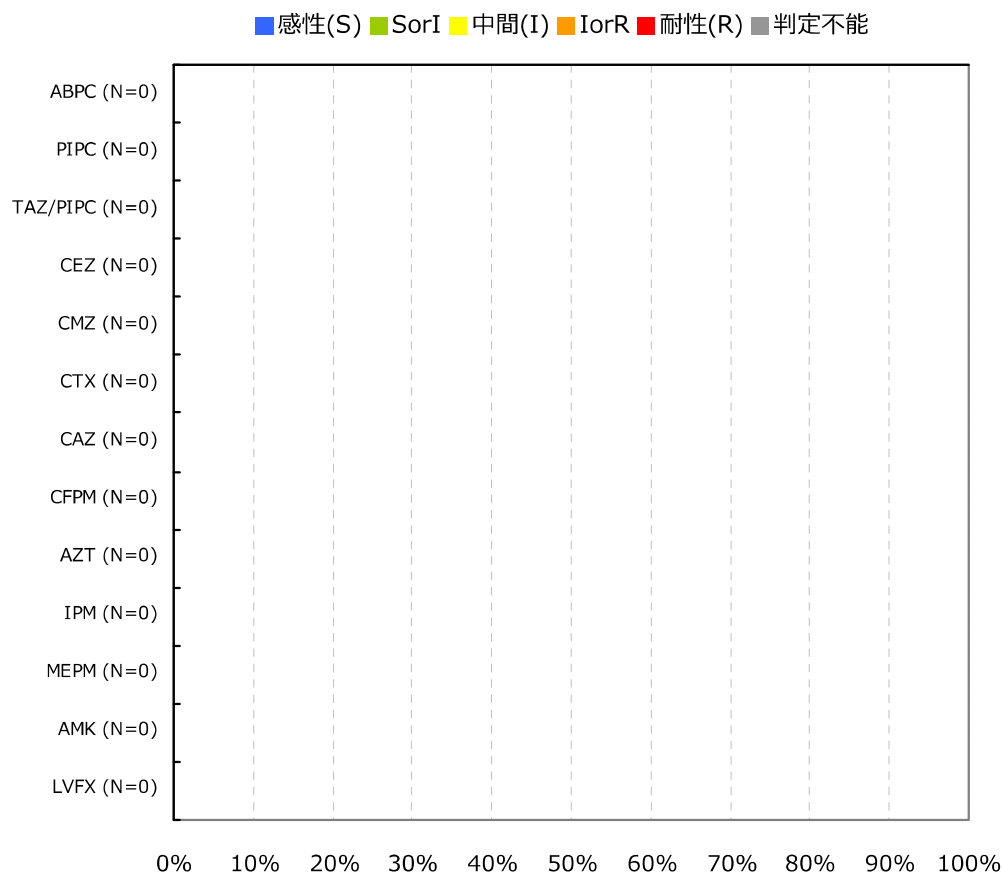
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード : 2152と報告された菌 (旧名 : *Enterobacter aerogenes*)

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter freundii †

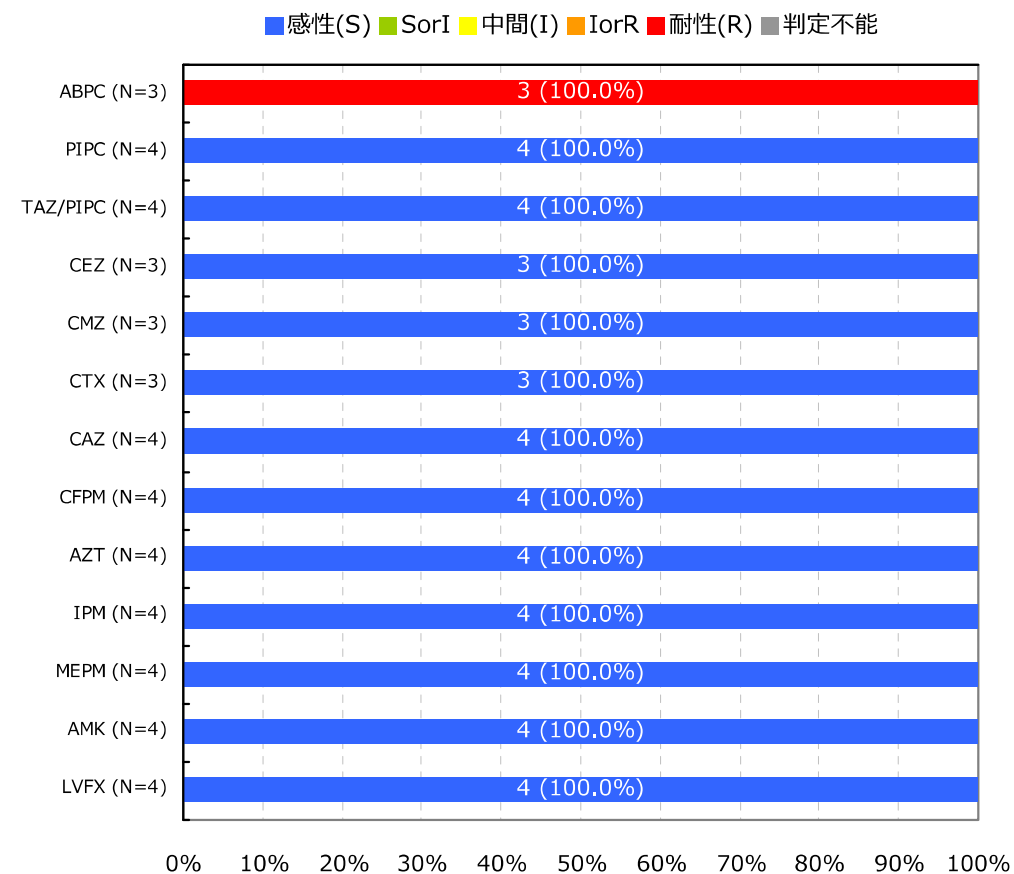


入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
 抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：2051と報告された菌

Citrobacter koseri †



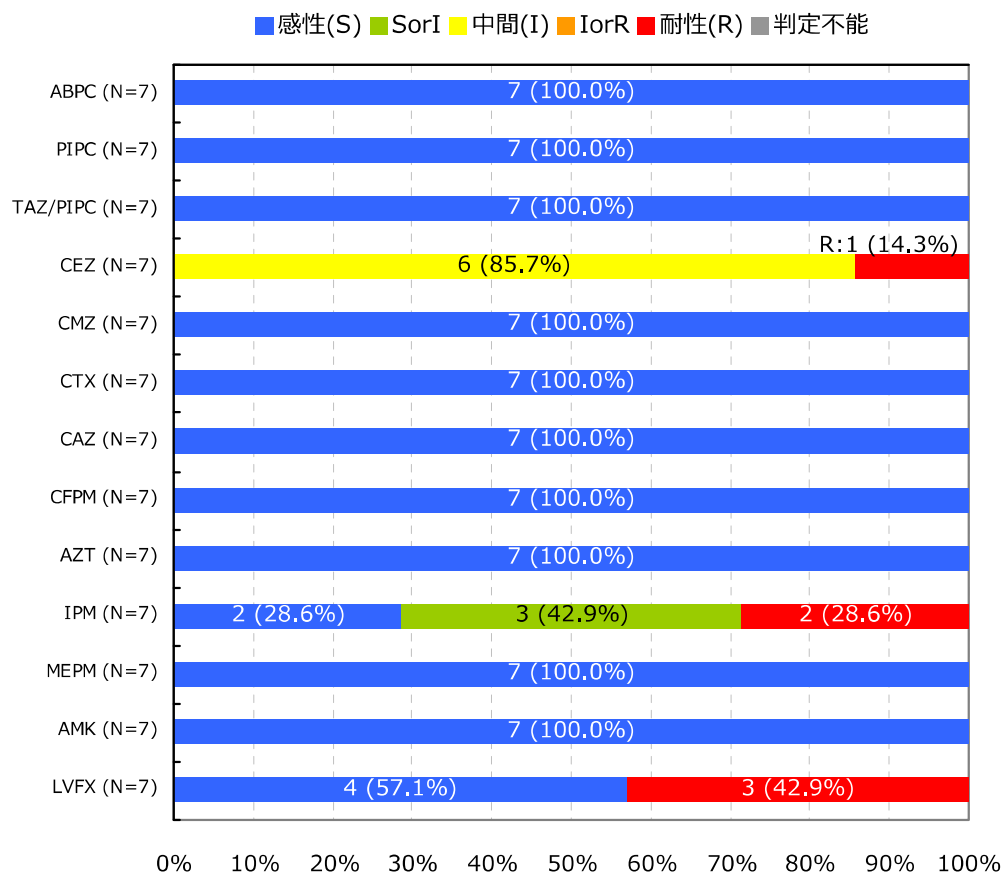
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
 抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：2052と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus mirabilis †

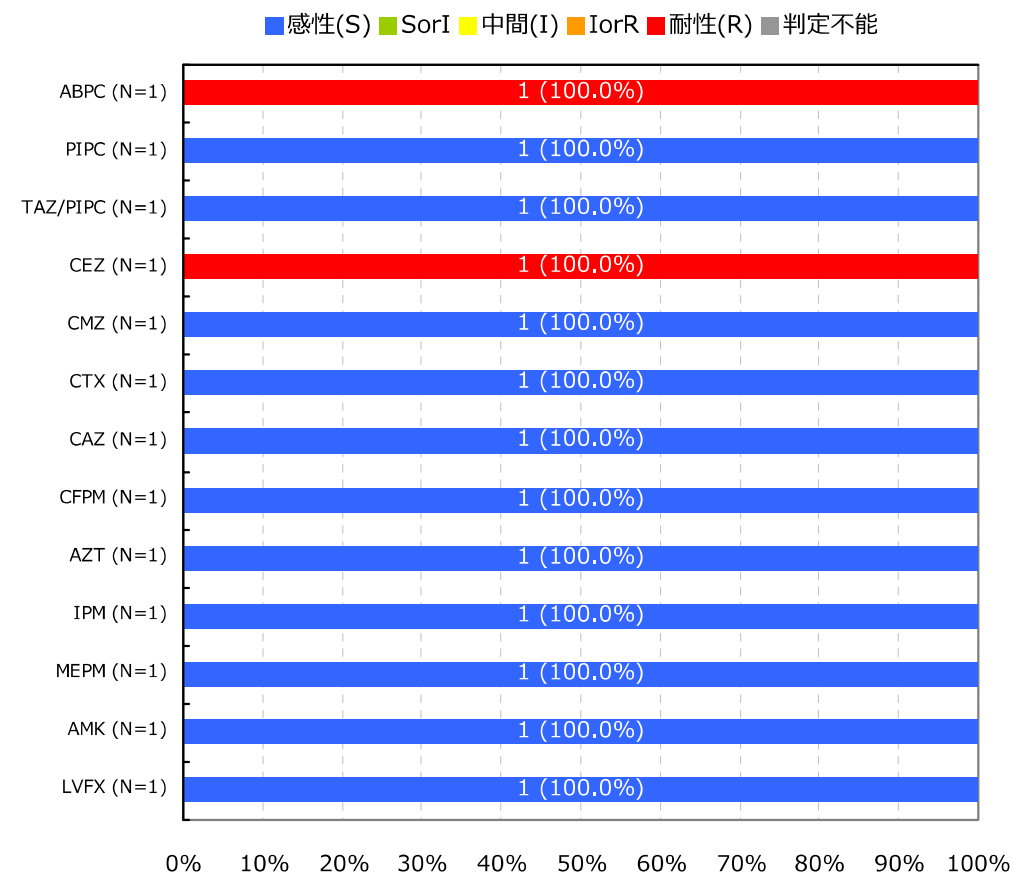


入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
 抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：2201と報告された菌

Proteus vulgaris †



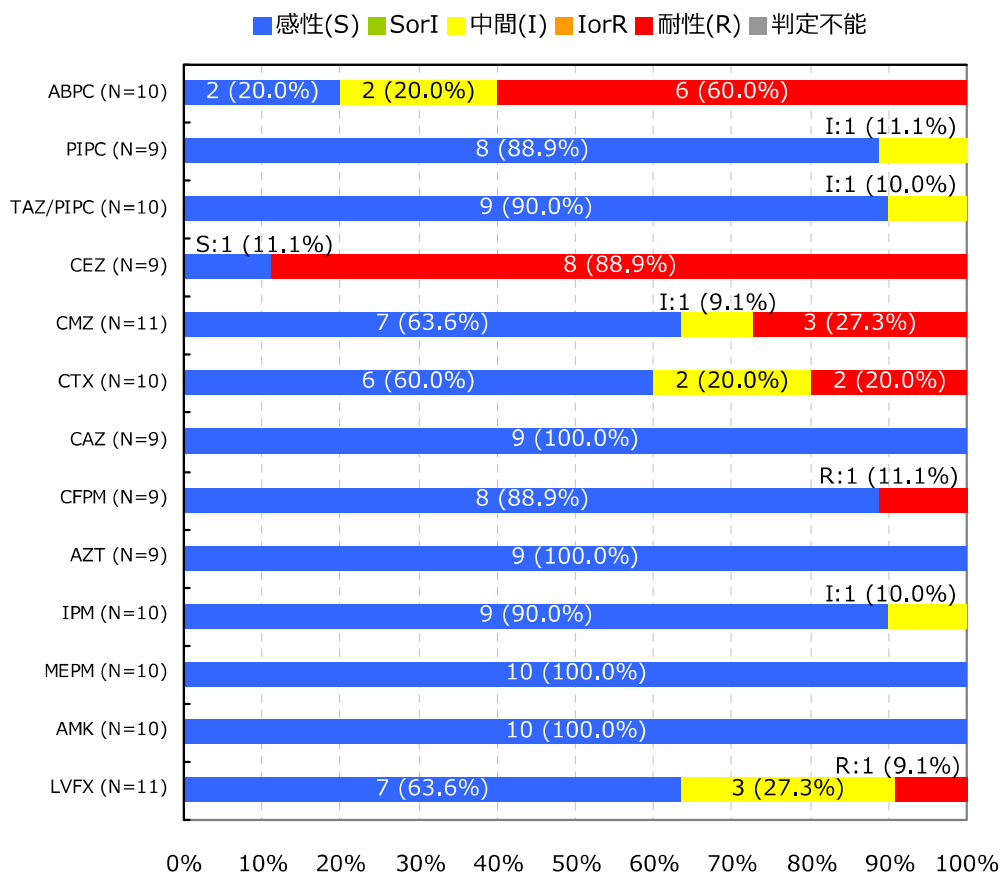
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
 抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：2202と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Serratia marcescens †



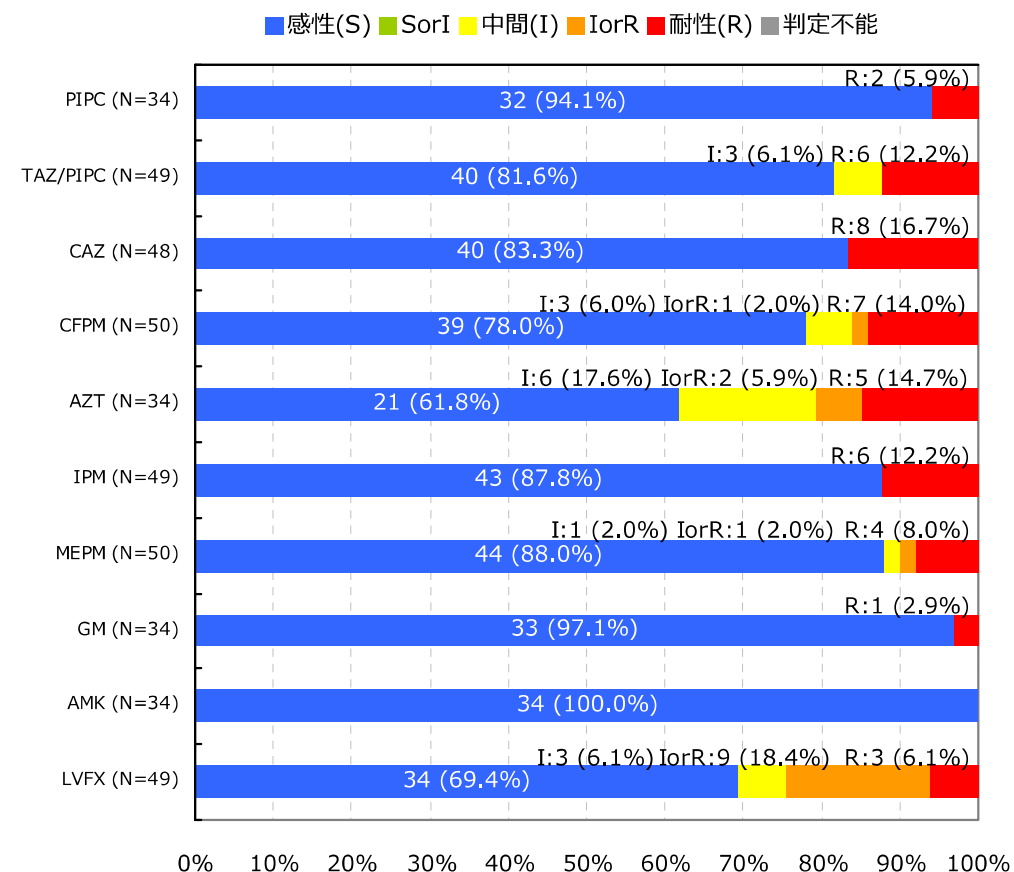
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：2101と報告された菌

Pseudomonas aeruginosa ‡



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

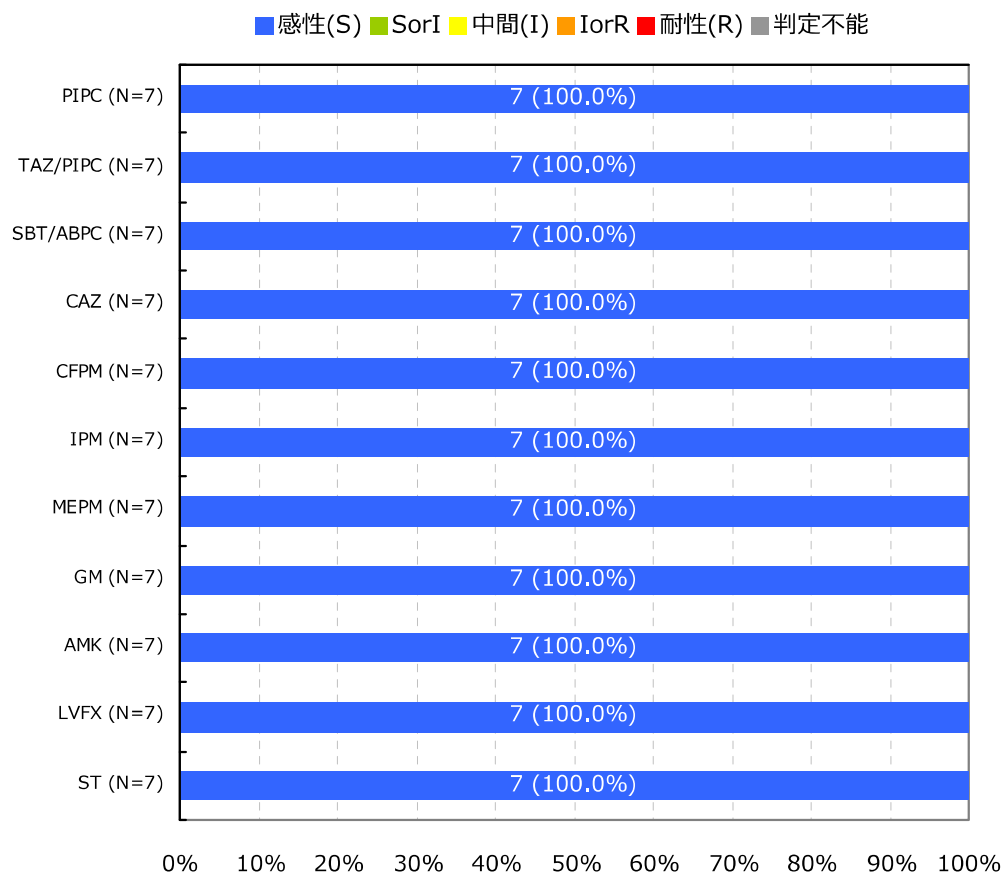
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

‡ 菌名コード：4001と報告された菌

4. 主要菌の抗菌薬感受性*

Acinetobacter spp. †



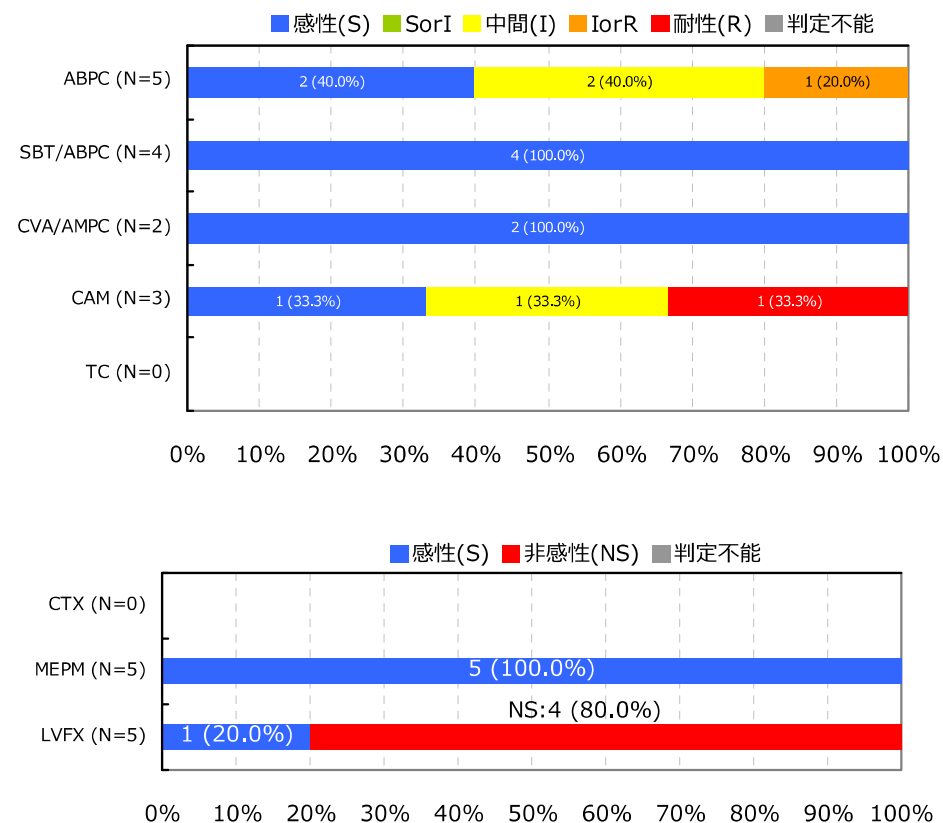
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：4400～4403と報告された菌

Haemophilus influenzae †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† 菌名コード：3201, 3202, 3203, 3205, 3208, 3211, 3214, 3217, 3220, 3223と報告された菌

5. 病棟別、特定の耐性菌(JANISで用いている判定基準)・主要菌の分離患者数

	病院全体	未入力	300	400	500	600	999	B3	B4	B5	B6			
検体提出患者数	805	1	221	81	37	273	1	164	72	31	160			
MRSA	81	0	13	18	4	29	0	7	7	3	21			
VRSA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
VRE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
PRSP	4	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0			
MDRP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
MDRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
CRE	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1			
カルバペネム耐性緑膿菌	5	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0			
第三世代セフトロ素 [®] リン耐性肺炎桿菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
第三世代セフトロ素 [®] リン耐性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
フルオロキノロン耐性大腸菌	24	0	9	2	3	5	0	1	1	2	2			
<i>S. aureus</i>	105	0	21	19	4	30	0	17	9	4	24			
<i>S. epidermidis</i>	13	0	2	1	0	4	0	1	1	0	6			
<i>S. pneumoniae</i>	5	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0			
<i>E. faecalis</i>	11	0	3	1	1	2	0	3	1	1	0			
<i>E. faecium</i>	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1			
<i>E. coli</i>	38	0	15	2	3	6	0	4	5	2	3			
<i>K. pneumoniae</i>	55	0	14	5	3	21	0	7	3	3	8			
<i>E. cloacae</i> complex	9	0	1	1	0	2	0	3	0	0	3			
<i>K. aerogenes</i>	4	0	0	2	0	1	0	0	1	0	1			
Enterobacteriaceae	121	0	33	10	12	32	0	16	10	7	15			
<i>P. aeruginosa</i>	43	0	12	5	7	5	0	7	6	4	3			
<i>Acinetobacter</i> spp.	7	0	2	1	0	2	0	0	0	0	2			

集計対象となる菌名コードおよび判定基準は巻末資料1を参照

6. 【呼吸器系検体】 検査材料別、特定の耐性菌(JANISで用いている判定基準)・主要菌の分離患者数

	病院全体	呼吸器系 検体	喀出痰	気管支洗 浄液	鼻腔内	その他 (呼吸器)	胸水							
検体提出患者数	805	710	694	16	1	8	31							
MRSA	81	78	76	0	0	0	2							
VRSA	0	0	0	0	0	0	0							
VRE	0	0	0	0	0	0	0							
PRSP	4	4	4	0	0	0	0							
MDRP	0	0	0	0	0	0	0							
MDRA	0	0	0	0	0	0	0							
CRE	2	2	2	0	0	0	0							
カルバペネム耐性緑膿菌	5	5	5	0	0	0	0							
第三世代セフトロ素 [®] 耐性肺炎桿菌	0	0	0	0	0	0	0							
第三世代セフトロ素 [®] 耐性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0							
フルオロキノロン耐性大腸菌	24	12	12	0	0	0	0							
<i>S. aureus</i>	105	99	96	1	0	0	2							
<i>S. epidermidis</i>	13	9	9	0	0	0	0							
<i>S. pneumoniae</i>	5	5	5	0	0	0	0							
<i>E. faecalis</i>	11	2	2	0	0	0	0							
<i>E. faecium</i>	3	1	1	0	0	0	0							
<i>E. coli</i>	38	18	18	0	0	0	0							
<i>K. pneumoniae</i>	55	44	44	0	0	1	0							
<i>E. cloacae</i> complex	9	7	7	0	0	0	0							
<i>K. aerogenes</i>	4	3	3	0	0	0	0							
Enterobacteriaceae	121	88	88	0	0	1	0							
<i>P. aeruginosa</i>	43	41	41	0	0	0	1							
<i>Acinetobacter</i> spp.	7	7	7	0	0	0	0							

集計対象となる菌名コードおよび判定基準は巻末資料1を参照

6. 【尿検体】 検査材料別、特定の耐性菌(JANISで用いている判定基準)・主要菌の分離患者数

	病院全体	尿検体	自然排尿	カテーテル尿 (採)										
検体提出患者数	805	81	46	36										
MRSA	81	1	1	0										
VRSA	0	0	0	0										
VRE	0	0	0	0										
PRSP	4	0	0	0										
MDRP	0	0	0	0										
MDRA	0	0	0	0										
CRE	2	0	0	0										
カルバペネム耐性緑膿菌	5	0	0	0										
第三世代セフトロソリン耐性肺炎桿菌	0	0	0	0										
第三世代セフトロソリン耐性大腸菌	0	0	0	0										
フルオロキノロン耐性大腸菌	24	12	5	7										
<i>S. aureus</i>	105	2	2	0										
<i>S. epidermidis</i>	13	1	0	1										
<i>S. pneumoniae</i>	5	0	0	0										
<i>E. faecalis</i>	11	8	5	3										
<i>E. faecium</i>	3	1	1	0										
<i>E. coli</i>	38	18	9	9										
<i>K. pneumoniae</i>	55	11	7	4										
<i>E. cloacae</i> complex	9	0	0	0										
<i>K. aerogenes</i>	4	1	1	0										
Enterobacteriaceae	121	30	16	14										
<i>P. aeruginosa</i>	43	3	0	3										
<i>Acinetobacter</i> spp.	7	0	0	0										

集計対象となる菌名コードおよび判定基準は巻末資料1を参照

6. 【便検体】 検査材料別、特定の耐性菌(JANISで用いている判定基準)・主要菌の分離患者数

	病院全体	便検体	糞便											
検体提出患者数	805	99	99											
MRSA	81	6	6											
VRSA	0	0	0											
VRE	0	0	0											
PRSP	4	0	0											
MDRP	0	0	0											
MDRA	0	0	0											
CRE	2	0	0											
カルバペネム耐性緑膿菌	5	0	0											
第三世代セフトロ素 [®] リン耐性肺炎桿菌	0	0	0											
第三世代セフトロ素 [®] リン耐性大腸菌	0	0	0											
フルオロキノロン耐性大腸菌	24	0	0											
<i>S. aureus</i>	105	6	6											
<i>S. epidermidis</i>	13	1	1											
<i>S. pneumoniae</i>	5	0	0											
<i>E. faecalis</i>	11	0	0											
<i>E. faecium</i>	3	0	0											
<i>E. coli</i>	38	0	0											
<i>K. pneumoniae</i>	55	0	0											
<i>E. cloacae</i> complex	9	0	0											
<i>K. aerogenes</i>	4	0	0											
Enterobacteriaceae	121	0	0											
<i>P. aeruginosa</i>	43	0	0											
<i>Acinetobacter</i> spp.	7	0	0											

集計対象となる菌名コードおよび判定基準は巻末資料1を参照

6. 【血液検体】検査材料別、特定の耐性菌(JANISで用いている判定基準)・主要菌の分離患者数

	病院全体	血液検体	静脈血	動脈血										
検体提出患者数	805	142	142	1										
MRSA	81	0	0	0										
VRSA	0	0	0	0										
VRE	0	0	0	0										
PRSP	4	0	0	0										
MDRP	0	0	0	0										
MDRA	0	0	0	0										
CRE	2	0	0	0										
カルバペネム耐性緑膿菌	5	0	0	0										
第三世代セフトロ素 [®] リン耐性肺炎桿菌	0	0	0	0										
第三世代セフトロ素 [®] リン耐性大腸菌	0	0	0	0										
フルオロキノロン耐性大腸菌	24	1	1	0										
<i>S. aureus</i>	105	2	2	0										
<i>S. epidermidis</i>	13	1	1	0										
<i>S. pneumoniae</i>	5	0	0	0										
<i>E. faecalis</i>	11	2	2	0										
<i>E. faecium</i>	3	0	0	0										
<i>E. coli</i>	38	3	3	0										
<i>K. pneumoniae</i>	55	1	1	0										
<i>E. cloacae</i> complex	9	2	2	0										
<i>K. aerogenes</i>	4	0	0	0										
Enterobacteriaceae	121	7	7	0										
<i>P. aeruginosa</i>	43	0	0	0										
<i>Acinetobacter</i> spp.	7	0	0	0										

集計対象となる菌名コードおよび判定基準は巻末資料1を参照

6. 【髄液検体】 検査材料別、特定の耐性菌(JANISで用いている判定基準)・主要菌の分離患者数

	病院全体	髄液検体	髄液											
検体提出患者数	805	3	3											
MRSA	81	0	0											
VRSA	0	0	0											
VRE	0	0	0											
PRSP	4	0	0											
MDRP	0	0	0											
MDRA	0	0	0											
CRE	2	0	0											
カルバペネム耐性緑膿菌	5	0	0											
第三世代セフトロソリン耐性肺炎桿菌	0	0	0											
第三世代セフトロソリン耐性大腸菌	0	0	0											
フルオロキノロン耐性大腸菌	24	0	0											
<i>S. aureus</i>	105	0	0											
<i>S. epidermidis</i>	13	0	0											
<i>S. pneumoniae</i>	5	0	0											
<i>E. faecalis</i>	11	0	0											
<i>E. faecium</i>	3	0	0											
<i>E. coli</i>	38	0	0											
<i>K. pneumoniae</i>	55	0	0											
<i>E. cloacae</i> complex	9	0	0											
<i>K. aerogenes</i>	4	0	0											
Enterobacteriaceae	121	0	0											
<i>P. aeruginosa</i>	43	0	0											
<i>Acinetobacter</i> spp.	7	0	0											

集計対象となる菌名コードおよび判定基準は巻末資料1を参照

6. 【その他】検査材料別、特定の耐性菌(JANISで用いている判定基準)・主要菌の分離患者数

	病院全体	その他	腔分泌物	その他 (泌尿・ 指腸液)	胃・十二 指腸液	腹水	関節液	その他 (穿刺液)	耳分泌物	開放性膿	閉鎖性膿	カテーテ ル刺入部	その他の 材料	
検体提出患者数	805	84	1	1	1	1	6	1	1	7	4	2	60	
MRSA	81	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
VRSA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
VRE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
PRSP	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
MDRP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
MDRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
CRE	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
カルバペネム耐性緑膿菌	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第三世代セフトロ素 [®] リン耐性肺炎桿菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第三世代セフトロ素 [®] リン耐性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
フルオロキノロン耐性大腸菌	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
<i>S. aureus</i>	105	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	
<i>S. epidermidis</i>	13	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
<i>S. pneumoniae</i>	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<i>E. faecalis</i>	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<i>E. faecium</i>	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
<i>E. coli</i>	38	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
<i>K. pneumoniae</i>	55	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
<i>E. cloacae</i> complex	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<i>K. aerogenes</i>	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Enterobacteriaceae	121	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
<i>P. aeruginosa</i>	43	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
<i>Acinetobacter</i> spp.	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

集計対象となる菌名コードおよび判定基準は巻末資料1を参照

【巻末資料 1 主要菌の菌名コード / 微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準】

主要菌の菌名コード（薬剤感受条件なし）

菌名	菌名コード Ver.6.0
<i>Staphylococcus aureus</i>	1301,1303-1306
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	1312
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131
<i>Enterococcus faecalis</i>	1201,1202
<i>Enterococcus faecium</i>	1205,1206
<i>Escherichia coli</i>	2001-2007
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2351
<i>Enterobacter cloacae</i> complex*	2151,2155,2157-2161
<i>Klebsiella aerogenes</i>	2152
<i>Enterobacteriaceae</i> **	2000-2691,3150-3151
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	4001
<i>Acinetobacter</i> spp.	4400-4403

* *Enterobacter cloacae* complex

以下の菌名コードの菌種を含む

(Davin-Regli et al (2019), *Clinical Microbiology Reviews*)

- 2151 *Enterobacter cloacae*
- 2155 *Enterobacter asburiae*
- 2157 *Enterobacter hormaechei*
- 2158 *Enterobacter kobei*
- 2159 *Enterobacter ludwigii*
- 2160 *Enterobacter mori*
- 2161 *Enterobacter nimipressuralis*

***Enterobacteriaceae*

腸内細菌科 (*Enterobacteriaceae*) 細菌の分類が変更され一部の菌種が新たな科として独立したことに伴い、旧来の *Enterobacteriaceae* と同義の用語として腸内細菌目 (*Enterobacteriales*) を使用することが提唱されているが、混乱を避けるため JANIS では当面旧来通りに *Enterobacteriaceae* を *Enterobacteriales* に属する *Enterobacteriaceae* 以外に *Morganellaceae* に属する *Proteus*、*Providencia*、*Morganella* や *Yersiniaceae* に属する *Serratia* 等を含むものとして記載する。

「微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準」について

耐性菌の菌名[‡]は以下の通り

- MRSA : Methicillin-resistant *S. aureus* メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
- VRSA : Vancomycin-resistant *S. aureus* バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌
- VRE : Vancomycin-resistant *Enterococcus* spp. バンコマイシン耐性腸球菌
- PRSP : Penicillin-resistant *S. pneumoniae* ペニシリン耐性肺炎球菌
- MDRP : Multidrug-resistant *P. aeruginosa* 多剤耐性緑膿菌
- MDRA : Multidrug-resistant *Acinetobacter* spp. 多剤耐性アシネトバクター属
- CRE : Carbapenem-Resistant *Enterobacteriaceae* カルバペネム耐性腸内細菌科細菌

* : 原則 S,I,R の判定は CLSI 2012 (M100-S22) に準拠

† : 感染症発生動向調査の基準に準拠

薬剤耐性菌判定基準 (Ver.3.2) と 検査部門特定の耐性菌判定基準 (Ver.4.2) を基に作成

微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準

菌名 [‡]	概要*	菌名コード Ver.6.0	JANIS で用いている判定基準	CLSI 2016 判定基準
MRSA	MPIPC または CFX が“R”の <i>S. aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301,1303	MPIPC ≥4μg/mL CFX ≥8μg/mL	MPIPC ≥4μg/mL CFX ≥8μg/mL
VRSA	VCM が微量液体希釈法で“R”の <i>S. aureus</i>	1301, 1303-1306	VCM ≥16μg/mL †	VCM ≥16μg/mL
VRE	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 † ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201,1202, 1205,1206, 1209,1210, 1213-1217	VCM ≥16μg/mL †	VCM ≥32μg/mL
PRSP	PCG が微量液体希釈法で耐性 † の <i>S. pneumoniae</i>	1131	PCG ≥0.125μg/mL †	髄膜炎 ≥0.12μg/mL 非髄膜炎 ≥8μg/mL
MDRP	下記全てに該当する <i>P. aeruginosa</i> 1. カルバペネム系 (IPM、MEPM の何れか) が微量液体希釈法で耐性 † 2. アミノグリコシド系の AMK が微量液体希釈法で耐性 † 3. フルオロキノロン系 (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX の何れか) が“R”	4001	1. IPM ≥16μg/mL †、 MEPM ≥16μg/mL † 2. AMK ≥32μg/mL † 3. NFLX ≥16μg/mL、 OFLX ≥8μg/mL、 LVFX ≥8μg/mL、 LFLX ≥8μg/mL、 CPFX ≥4μg/mL	1. IPM ≥8μg/mL、 MEPM ≥8μg/mL 2. AMK ≥64μg/mL 3. NFLX ≥16μg/mL、 OFLX ≥8μg/mL、 LVFX ≥8μg/mL、 LFLX ≥8μg/mL、 CPFX ≥4μg/mL
MDRA	下記全てに該当する <i>Acinetobacter</i> spp. 1. カルバペネム系 (IPM、MEPM の何れか) が“R” 2. アミノグリコシド系の AMK が微量液体希釈法で耐性 † 3. フルオロキノロン系 (LVFX、CPFX の何れか) が“R”	4400-4403	1. IPM ≥16μg/mL †、 MEPM ≥16μg/mL † 2. AMK ≥32μg/mL † 3. LVFX ≥8μg/mL、 CPFX ≥4μg/mL	1. IPM ≥8μg/mL、 MEPM ≥8μg/mL 2. AMK ≥64μg/mL 3. LVFX ≥8μg/mL、 CPFX ≥4μg/mL
CRE	下記の何れかの条件を満たす腸内細菌科 1. MEPM が耐性 † 2. IPM が耐性 †、かつ CMZ が“R”	2000-2691 3150-3151	1. MEPM ≥2μg/mL † 2. IPM ≥2μg/mL † かつ CMZ ≥64μg/mL	1. MEPM ≥4μg/mL 2. IPM ≥4μg/mL
カルバペネム耐性緑膿菌	IPM または MEPM が耐性 † の <i>P. aeruginosa</i>	4001	IPM ≥16μg/mL † MEPM ≥16μg/mL †	IPM ≥8μg/mL MEPM ≥8μg/mL
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	CTX または CTRX または CAZ が“R”の <i>K. pneumoniae</i>	2351	CTX ≥4μg/mL CTRX ≥4μg/mL CAZ ≥16μg/mL	CTX ≥4μg/mL CTRX ≥4μg/mL CAZ ≥16μg/mL
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	CTX または CTRX または CAZ が“R”の <i>E. coli</i>	2001-2007	CTX ≥4μg/mL CTRX ≥4μg/mL CAZ ≥16μg/mL	CTX ≥4μg/mL CTRX ≥4μg/mL CAZ ≥16μg/mL
フルオロキノロン耐性大腸菌	フルオロキノロン系 (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX の何れか) が“R”の <i>E. coli</i>	2001-2007	NFLX ≥16μg/mL、 OFLX ≥8μg/mL、 LVFX ≥8μg/mL、 LFLX ≥8μg/mL、 CPFX ≥4μg/mL	NFLX ≥16μg/mL、 OFLX ≥8μg/mL、 LVFX ≥8μg/mL、 LFLX ≥8μg/mL、 CPFX ≥4μg/mL

【巻末資料 2 還元情報の集計方法について】

1. 日数の数え方

検体提出日の翌日を1日目とする。検体提出日が3月1日とすると、1日目が3月2日、30日目が3月31日となる。

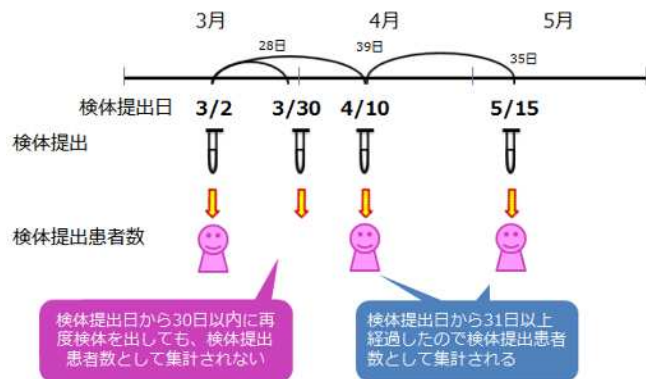
例)



2. 検体提出患者数

検体提出患者数は、検体の種類や菌分離の有無に関わらず検体(入院検体)が提出された患者の数である。検体提出患者数は重複処理を行っており、30日以内の同一患者からの複数の検体提出は1件とする。

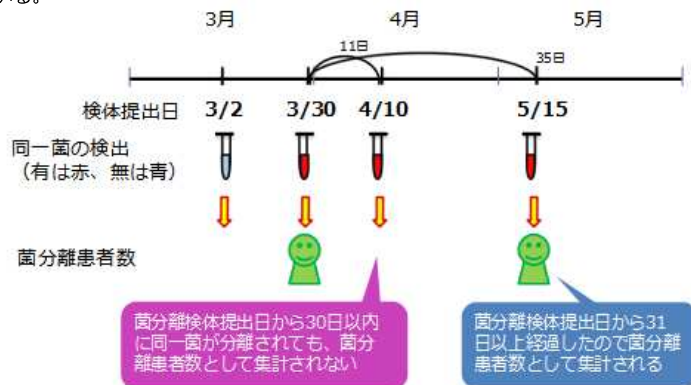
例)



3. 菌分離患者数

菌分離患者数も検体提出患者と同様の重複処理を行い、30日以内に同一患者から同一菌が複数回検出された場合、菌分離患者数は1件とする。耐性菌分離患者数は、耐性菌の基準に合致する菌をまず抽出し、その中で上記重複処理を行っている。

例)



4. 分離率の算出

「1.特定の耐性菌の分離患者数と分離率」および「2.主要菌の分離患者数と分離率」の各分離率は以下の算出式を用いている。

$$\begin{aligned} \text{+ 分離率} &= (\text{対象菌の分離患者数}) \div (\text{検体提出患者数}) \times 100 \\ \text{+ 全体の分離率} &= (\text{集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計}) \\ &\quad \div (\text{集計対象医療機関の検体提出患者数合計}) \times 100 \end{aligned}$$

5. 抗菌薬感受性検査結果をもとにした同一菌と異なる菌との区別

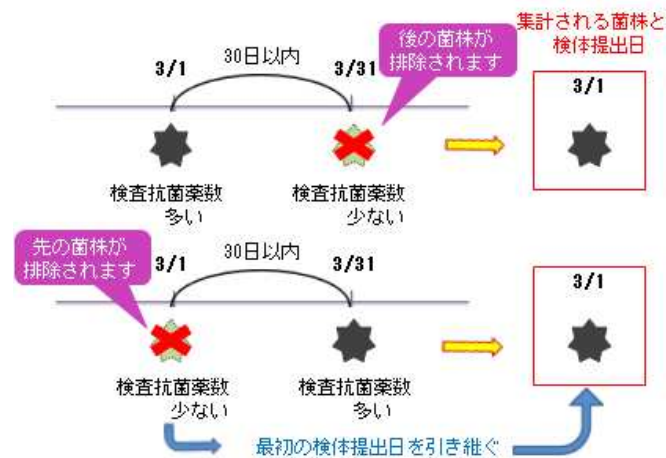
30日以内に同一患者から同一菌が検出された場合であっても、検査抗菌薬感受性結果に1つ以上不一致(下記①～④のいずれかに該当)がある場合は異なる菌株として集計される。

- ① MIC値に4倍以上の違いがある
ただし、MIC > 2はMIC ≥ 4と考え、判定時はMIC = 4として扱う
また、MIC < 16はMIC ≤ 16と考え、判定時はMIC = 16として扱う
- ② SIR判定では「SとR」の組み合わせ
- ③ +/-判定では「-と++」または「+と+++」または「-と+++」の組み合わせ
- ④ 共通する検査抗菌薬数が5未満

6. 抗菌薬感受性結果の重複処理

検体提出日が先の菌株の検査抗菌薬数が(30日以内の)後の菌株の検査抗菌薬数より多い場合、後の菌株の抗菌薬感受性検査結果は排除する。また、検体提出日が後の菌株の検査抗菌薬数が(30日以内の)先の菌株の検査抗菌薬数より多い場合、先の菌株の抗菌薬感受性検査結果を排除するが、先の検査の検体提出日を引き継ぐ。

例)



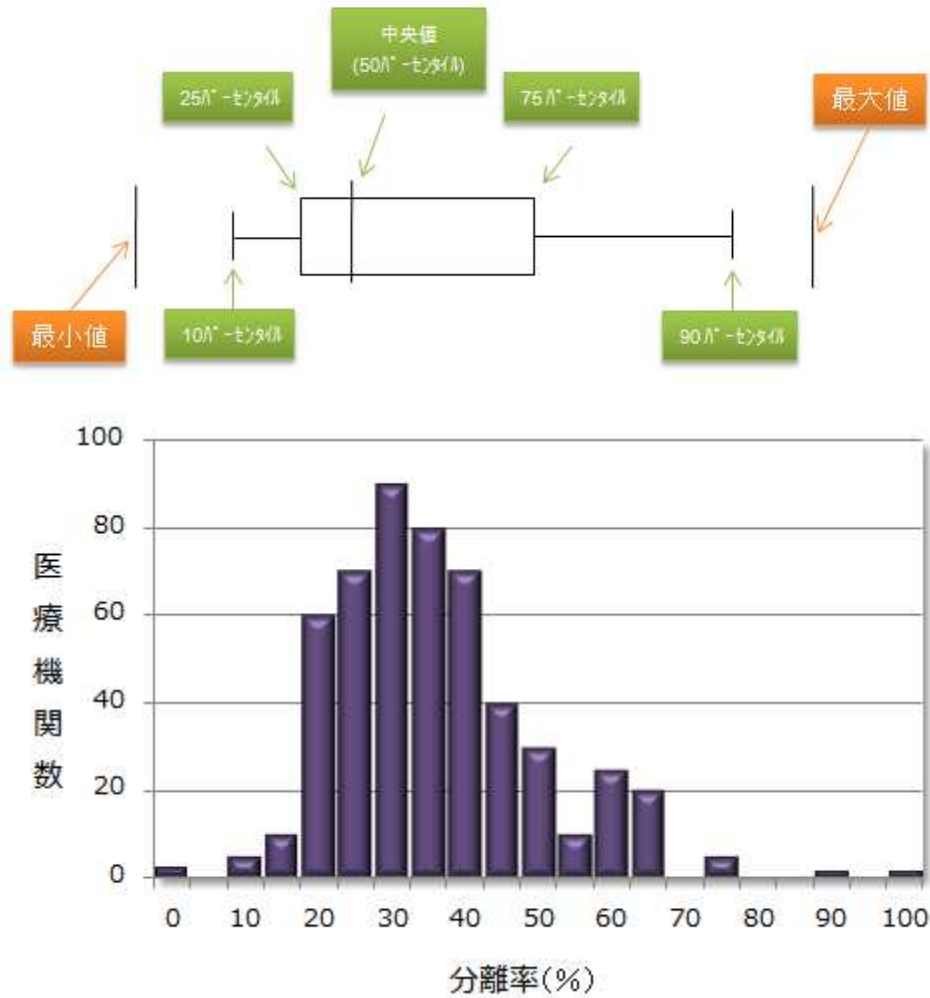
7. 病棟別および検査材料別の菌分離患者数

「5.病棟別、特定の耐性菌・主要菌の分離患者数」および「6.検査材料別、特定の耐性菌・主要菌の分離患者数」では、同一患者から同一菌種が複数の病棟/検査材料から提出された場合は、各病棟/各検査材料で菌分離患者数として集計しているため、合計が病院全体の菌分離患者数を上回ることがある。

【巻末資料 3 箱ひげ図について】

1. 箱ひげ図について

集計対象医療機関のデータのばらつきを示し、集計対象医療機関における自施設の位置を確認することができる。



パーセンタイル：値を小さいものから大きいものへと順番に並べ、全体を 100 として何番目であるかを表したもの。

例えば、10パーセンタイルは、全体を 100 として小さいほうから数えて 10 番目の計測値を示している。

2. 還元情報の箱ひげ図

